

官報

號 外

大正十二年十二月二十一日(金曜日) 印刷局

第四十七回 帝國議會 衆議院議事速記録第七號

大正十二年十二月二十日(木曜日)午前十時四十六分開議

議事日程 第六號 大正十二年十二月二十日

午前十時開議

質問

- 一 對米外交ニ關スル質問(田中武雄君提出)
- 二 勞働者刺殺ニ關スル質問(横山勝太郎君提出)
- 三 對米外交ニ關スル質問(清瀬規矩雄君提出)
- 四 罹災地ニ於ケル借地借家及假建築ノ關係並焦土灰燼ノ處置ニ關スル質問(作間耕逸君外四名提出)
- 五 支那人誤殺事件ニ關スル質問(仙波太郎君提出)
- 六 上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問(仙波太郎君提出)
- 第一 非常徵發令(承諾ヲ求ムル件)(貴族院送付)
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 大正十二年勅令第四百五號(承諾ヲ求ムル件)(暴利取締ノ件)(貴族院送付)

- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件)
- 第六 臨時物資供給特別會計令(承諾ヲ求ムル件)(委員長報告)
- 第七 大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル件)(手形割引損失補償ノ件)(委員長報告)
- 第八 關東地方ノ震災ニ罹リタル者ニ對スル債權ニ關スル法律案(中野寅吉君提出)
- 第九 相模西部ノ復興ニ關スル建議案(森格君外三名提出)
- 第一〇 火災保險官營ニ關スル建議案(加藤定吉君外一名提出)
- 第一一 露國政變及事變ニ關スル被害者救濟並對露貿易企業促進ニ關スル建議案(川崎克君外九名提出)
- 第一二 現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案(津野田是重君外五名提出)
- 第一三 國政ノ大改造ニ關スル建議案(荒川五郎君提出)
- 第一四 輸入税免除廢止ニ關スル建議案(小橋澤三衛君外一名提出)
- 第一五 震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案(星島二郎君提出)

- 第一六 燒失遊廊再興不許可ニ關スル建議案(松山常次郎君外二名提出)
- 第一七 農務省新設ニ關スル建議案(天春文衛君外九名提出)
- 第一八 農村振興ニ關スル建議案(大津淳一郎君外十一名提出)
- 第一九 決議案(廢止緊急勅令提出ノ件)(原夫次郎提出)
- 第二〇 (特別報告第一號)金鵄勳章年金額改正ノ請願(委員長報告)
- 第二一 (特別報告第二號)帝都ニ飛行場設置ノ請願(委員長報告)
- 第二二 (特別報告第三號)議員神宮參拜ノ請願(委員長報告)
- 第二三 (特別報告第四號)荷車取締法制定ノ請願(委員長報告)
- 第二四 (特別報告第五號)天皇陛下ノ御肖像並勅語ノ新聞及雜誌掲載方法並之ヲ奉拜方法ニ關スル取締ノ請願(委員長報告)
- 第二五 (特別報告第六號)僻陬地醫師ニ關スル請願(委員長報告)
- 第二六 (特別報告第七號)内地移入糖廩館保税倉庫設置ノ請願(委員長報告)
- 第二七 (特別報告第九號)小學校教員俸給國庫支辨ノ請願(委員長報告)
- 第二八 (特別報告第一〇號)罹災地工業復活ニ關スル請願(委員長報告)

官報號外

大正十二年十二月二十一日(明治三十五年三月三十一日第)

種郵便物認可)

衆議院議事速記録第七號

第二九 (特別報告第一一號)紀勢鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第三〇 (特別報告第一二號)豐原鐵道停車場開始ノ請願 (委員長報告)

第三一 (特別報告第一三號)益田、瀧部間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第三二 (特別報告第一四號)秋、小郡間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第三三 (特別報告第一五號)三保三隅、鎌手驛間ニ停車場設置ノ請願 (委員長報告)

第三四 (特別報告第一六號)三江鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三五 (特別報告第一七號)江崎港、小濱驛間鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第三六 (特別報告第一八號)遠美鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

議長(粕谷義三君) 都合ニ依リマシテ午後一時マデ休憩致シマス

午後一時十九分開議

議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

一議員ノ異動左ノ如シ

鹿兒島縣第五區選出議員萩亮君死去セラレタリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

農村振興ニ關スル建議案

提出者 大津 淳一郎君 山道 襄一君

神谷 彌兵衛君 佐久間 啓莊君

金田 平兵衛君 香川 保忠君

下田 勘次君 高田 耘平君

宇八君 井上 剛一君

小野 重行君 齋藤 小十郎君

決議案(廢止緊急勅令提出ノ件)

提出者 原 夫次郎君

(以上十二月十九日提出)

今二十日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員橫山勝太郎君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員清瀬規矩雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員作間耕逸君外四名提出罹災地ニ於ケル借地借家及假建築ノ關係並焦土灰燼ノ處置ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員仙波太郎君提出支那人誤殺事件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員仙波太郎君提出上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

對米外交ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十一日

提出者 田中 武雄

贊成者 三木 武吉

外二十九名

對米外交ニ關スル質問主意書

過般在米同胞土地所有權ニ關スル米國大審院ノ判決ハ在米日本人ノ生活ノ根柢ヲ脅威シ日米將來ノ國交ヲ危殆ナラシムルノ因ヲ爲スモノト認ム之ニ對スル政府ノ對策如何

右及質問候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員田中武雄君提出對米外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

田村春吉ノ指揮ニ屬スル兵卒ノ爲ニ一時ニ
刺殺セラレタリト謂フ其ノ理由如何
三 右被殺者ノ屍體ヲ如何ニ處分シタルヤ其ノ
實際ノ事情及法律上ノ根據如何
四 前記ノ事實ヲ大正十二年十月十日迄隠蔽シ
之ヲ遺族ニ告ケサルノミナラス之ヲ公表セ
サル理由如何
抑該刺殺事件ハ今回ノ震災ニ依ル人心動搖ノ
際ニ密行セラレ本員等ハ人権ノ尊重セララル法
治國ニ於テ許スヘカラサル官憲ノ罪惡ニシテ内
務陸軍當局ノ威信ニ關シ其ノ責任ハ極メテ重大
ナルモノアリト思料ス政府ハ速ニ率直ニ事實ノ
詳細ヲ公表シ以テ人権尊重ノ大義ヲ明ニセムコ
トヲ望ム
右及質問候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 伯爵山本權兵衛

衆議院議員 橫山勝太郎君提出労働者刺殺ニ關ス
ル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員 橫山勝太郎君提出労働者刺殺ニ

關スル質問ニ對スル答辯書

一、大正十二年九月二日龜戸警察署ニ於テ労働
者平澤計七等九人ヲ檢束シタルハ震災ニ依
ル人心動搖ノ際或ハ革命歌ヲ高唱シ或ハ流言
蜚語ヲ放ツ等當時ノ狀況ニ徴シ頗ル不穩ノ言
動アリシヲ以テ公安保持上其ノ必要アリト認
メタルニ因ル

二、右被檢束者ハ檢束後ト雖モ盛ニ革命歌ヲ高
唱シ喧騒ヲ極メ警察官ノ命ニ服セサルノミナ
ラス他ノ檢束者ヲ煽動シ警察官ノミニテハ到
底其ノ警護ヲ完ウシ能ハサリシヲ以テ當該警
察署長ヨリ同附近ニアリタル警備隊ニ其ノ應
援ヲ求メタリ依テ該部隊ハ直ニ之ニ赴キ警
察官ト共ニ平澤計七外八名ノ者ヲ監房外ニ離

隔シタルモ彼等ハ尙鎮靜セス甚シク抵抗シ暴
舉遂ニ同署内ニ收容セル約七百六十名ノ收容
者ニ波及セムトシ事態頗ル重大ナルヲ認メ
兵器ヲ用ウルニアラサレハ到底拾收シ能ハサ
ルニ至リタルヲ以テ當該部隊指揮官ハ衛戍勤
務令第十二ニ基キ部下ヲシテ彼等ヲ刺殺セシ
メタリ

三、右被害者ノ屍體ヲ直ニ遺族ニ引渡スニ於
テハ一般人心ノ動搖ヲ惹起スル虞アリシヲ以
テ治安維持ノ必要上之ヲ遺族ニ通スルコト能
ハス而シテ屍體ハ腐敗ニ傾ケル爲メ龜戸警察
署ハ行旅死亡人取扱ノ例ニ依リ之ヲ吾嬬町役
場ニ引渡シタルニ同町役場ハ之ヲ火葬ニ付シ
タリ

四、前記ノ事實ヲ大正十二年十月十日迄公表セ
サリシハ當時人心尙安定セス治安維持ノ必要
上未タ其ノ時期ニアラスト認メタルニ因ル
右及答辯候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議員 男爵後藤 新平

陸軍大臣 男爵田中 義一

對米外交ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十四日

提出者 清瀬規矩雄

贊成者 高見 之通

外二十九名

對米外交ニ關スル質問主意書

一 米國カリフォルニア州其ノ他ニ於テ在留本邦
人ノ農業ニ關スル土地所有權並借地權ノ享
有ヲ禁止シ剩ヘ歩合耕作ヲモ禁止シタルハ
在米邦人ノ權利利益ヲ無視シ其ノ生計ヲ困
難ナラシムル不法背理ノ行爲ナリト信ス政
府ハ外交上相當ノ措置ヲ取りシヤ又今後何

二 等カノ手段ヲ講スルノ意思アリヤ如何
右ニ關シ何等カノ措置ヲ取りシトセハ其ノ
内容如何若何等ノ手段ヲ講セス或ハ手段ヲ
講スルノ意思ナシトセハ其ノ理由如何

三 所有權借地權並歩合耕作ノ禁止後政府ハ如
何ナル手段ヲ以テ數萬ノ在米邦人ヲシ
テ農業ヲ繼續セシメムトスルカ

四 現行日米通商條約ハ不備不便ノ點多シト信
ス政府ハ之ヲ改訂スルノ意思ナキヤ尙之ニ
關シ何等カノ手段ヲ講シタリヤ

五 日米通商條約改訂ニ關シ何等カノ手段ヲ
講シタリトセハ其ノ經過如何若未タ何等ノ
手段ヲ講セストセハ其ノ理由如何

六 國籍法ヲ改正シ外國ニ於テ出生シタル者ハ
滿十七歲以上ノ者ト雖自由ニ國籍離脱ヲ
認許スルノ必要アリト信ス政府ノ所見如何

七 若改正スルノ意思ナシトセハ其ノ理由如何
政府ハ明治四十四年法律第五十一號外國人
ノ土地所有權ニ關スル法律ヲ改正實施スル
ノ意思ナキヤ如何

右及質問候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 伯爵山本權兵衛

衆議院議員 清瀬規矩雄君提出對米外交ニ關スル

質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員 清瀬規矩雄君提出對米外交ニ關

スル質問ニ對スル答辯書

一、排外土地法ニ關シ合衆國大審院ニ於テ判決
ヲ見ルヤ帝國政府ニ於テハ直ニ米國政府ノ深
甚ナル注意ヲ喚起シ目下之ニ對スル同政府ヨ
リノ回示ヲ待ツツアリ
二、前項措置ノ内容ニ至リテハ尙公表スルノ時
機ニ非スト思考ス

三、在留本邦人農業者ニ於テ目下其ノ救済ノ手段ニ關シ最善ノ考慮ヲ加ヘツツアリ政府ハ右ノ事情ニ顧ミ關係地方駐在領事館ヲシテ之ニ適當ナル助力ヲ與ヘシムルノ外暫ク其ノ結果ヲ俟ツノ所存ナリ

四、現行日米通商航海條約改訂ノ得失ハ諸般ノ事情ヲ考慮スルノ要アリ之ヲ改訂スルノ意思有無ニ關シテハ未タ茲ニ之ヲ言明スルヲ得ス

五、前項ノ理由ニ因リ改訂ニ關シ米國政府ニ對シテ何等ノ手段ヲ執リ居ラサルモ目下之ニ關シ攻究中ナリ

六、現行國籍法ヲ改正シテ外國ニ生レタルニ因リテ其ノ國籍ヲ取得スル者ハ滿十七歲以上ニ達シタル男子ト雖我カ國籍ヲ離脱スルコトヲ得ルノ途ヲ開クコトニ關シテハ政府ニ於テモ其ノ必要ヲ認メ目下之カ調査ヲナシツツアリ

七、政府ハ外國人ノ土地所有權ニ關スル明治四十二年法律第五十一號ニ適當ノ改正ヲ加ヘテ之ヲ實施スルノ意向ヲ以テ目下審議中ナリ

右答辯候也

大正十二年十二月二十日

外務大臣 男爵伊集院彦吉
內務大臣 子爵後藤 新平
陸軍大臣 男爵田中 義一
海軍大臣 財部 彪

罹災地ニ於ケル借地借家及假建築ノ關係竝焦土灰燼ノ處置ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十四日

提出者 作間 耕逸
贊成者 井上 剛一
外五十一名

罹災地ニ於ケル借地借家及假建築ノ關係竝焦土灰燼ノ處置ニ關スル質問主意書

罹災地ニ於ケル土地家屋ノ貸借並「バラツク」ノ建築及其ノ使用ニ付テ紛爭續出ノ傾向アリ政府ハ各所ニ出張セシメタル調停機關ニ依リ之カ解決ヲ講セシメ居リ其ノ成績見ルヘキモノアルモ此ノ際特殊ノ立法ニ依リ一般ノニ其ノ據ルヘキ所ヲ知ラシメ地主借地人借家人ノ關係ヲ安定シ紛爭ヲ少カラシムルノ意ナキヤ

二 焦土灰燼ノ處置ニ付テハ之ニ當ル地方自治體ノ施設區々ニシテ其ノ進捗遲々タル爲復興ノ氣運ヲ阻害スルコト少カラス之ニ對スル督勵ノ右針如何

右及質問候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 伯爵山本權兵衛
衆議院議員 作間耕逸君外四名提出罹災地ニ於ケル借地借家及假建築ノ關係竝焦土灰燼ノ處置ニ關スル質問主意書

〔別紙〕

衆議院議員 作間耕逸君外四名提出罹災地ニ於ケル借地借家及假建築ノ關係竝焦土灰燼ノ處置ニ關スル質問主意書

一、罹災地ニ於ケル借地、借家ノ關係ハ震災ニ基ク異常ノ現象ヲ伴ヒ複雑極ムルモノアリ、特殊ノ法規ヲ設ケテ一般ノニ之ヲ律セムコト難シ寧ロ具體的ノ事案ニ付キ調停ヲ試ミ圓滿ナル解決ヲ爲スヲ以テ最モ時宜ニ適シタル措置ナリト信ス

右ノ事情ナルヲ以テ政府ハ此ノ點ニ關シ特殊ノ立法ヲ爲スノ意ナシ

二、焦土灰燼ノ處置ハ其ノ地方ノ事情ニ適應シタル方法ニ依ラシムルヲ適當ト認ムルヲ以テ地方自治體ノ施設ニ任スト雖其ノ整理ノ遲速

ハ燒失地ノ復興ト重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ政府ハ之カ事業助成ノ方針ヲ採リ東京市ニ對シ五百萬圓、横浜市ニ對シ百五十萬圓、横須賀市ニ對シテハ參拾六萬參千五百圓（取除費ヲ含ム）ノ低利資金ヲ供給シ其ノ焦土灰燼ノ多クハ理立又ハ盛土ニ充用シ經濟的ニ處置セシメツツアリ、東京市ニ於テハ既ニ灰燼約二十萬立坪ノ中其ノ半量ヲ處置シ了リタルモ尙其ノ進捗ニツキ督勵ヲ加ヘツツアリ

右及答辯候也

大正十二年十二月二十日

內務大臣 子爵後藤 新平
司法大臣 平沼騏一郎

支那人誤殺事件ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十五日

提出者 仙波 太郎
贊成者 矢島 專平
外二十九名

支那人誤殺事件ニ關スル質問主意書

今回ノ大震災災ノ際本邦在留支那人誤殺ニ關シ我カ政府ハ前後二回ニ互リ毎回四名若ハ五名總テ十餘名ナリト公表シタルニ對シ支那公使館ハ留學生十七名商人二十六名勞働者二十五名總計六十八名ナリト公表シ彼我ノ調査ニ著シキ懸隔アリ事變後三箇月有餘ヲ經過シタル今日ニ於テ我カ政府ハ尙調査ヲ完了スルニ至ラス爲ニ支那政府ヨリハ前後數回調査員ヲ派遣セシムルニ至リ剩ヘ支那國民ニ非常ノ反感ヲ抱カシメツツアリ斯ノ如キハ彼我ノ親善睦誼ヲ全ウスル所以ニ非スト信ス故ニ政府ハ

一 此ノ際公明正大ニ事實ト被害數トヲ中外ニ公表シ内外人ノ疑ヲ解クノ意思ナキヤ

二 若混雜ノ際調査不可能ノ點アリテ正確ノ數ヲ公表スルニ難シトセハ寧ロ此ノ際我ヨリ進ムテ速ニ支那公使館ノ報告ヲ是認スルノ雅量坦懷ヲ示サレタキモノト信ス政府ノ所見如何

三 遭難者ヲ生セシ事件ニ付我カ政府ヨリ遺憾ノ意ヲ表セラレタリトノコトナルカ尙進ムテ速ニ相當ノ賑恤金ヲ贈與シ彼我國民間ノ感情ヲ融和スル策ニ出ツルノ意思ナキヤ右及質問候也

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 伯爵山本權兵衛

衆議院議員 仙波太郎君提出支那人誤殺事件ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員 仙波太郎君提出ニ係ル支那人誤殺事件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、今次ノ震災ノ際本邦人カ誤テ支那人ヲ殺傷シタル事件ニ付テハ當局ニ於テ嚴重調査ノ結果犯情判明シタルモノハ加害者ヲ起訴スルト共ニ同時支那政府ニ當該事實ヲ通報シ且ツ其ノ大要ヲ公表セリ而シテ今日迄判明セル分ハ被害支那人數死者三名負傷者七名ナリ尙政府ハ今後鋭意調査ヲ繼續シ判明シタル事實ハ隨時公表スヘシ

二、在本邦支那公使館ニ於テ質問主意書記載ノ通被害支那人ノ數ヲ公表シタルコト事實ナリトセハ右ハ同館限りノ調査ニ係ルモノナルヘク從テ政府トシテハ之ヲ是認シ得ヘキ限リニアラス

三、政府ハ今日ノ如キ不祥事ノ突發セルコトヲ深く遺憾トスル旨已ニ支那政府ニ申入レタルモ被害事實ニ付テハ目下引續キ調査中ナルヲ以テ此際救恤金ニ關シ何等所見ヲ表明スルヲ得ス

右及答辯候也

大正十二年十二月二十日

内務大臣 子爵後藤 新平
外務大臣 男爵伊集院 彦吉

上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十五日

提出者 仙波 太郎
賛成者 萩田 悅造
外二十九名

上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問主意書

支那海軍部對三井物產ノ契約ニ依リ上海ニ於ケル無線電信臺建築ハ今日既ニ竣功ヲ告ケシ由ナルカ支那政府ハ工事ノ中途壇ニ米國フエデラル會社ニ對シ無線電信臺工事ノ二重契約ヲ爲シ爲ニ事件紛糾且重大トナリ我ガ芳澤公使ハ支那政府ニ對シ既ニ十回ノ強硬ナル抗議ヲ爲セシニ拘ラス米國ハ飽テ頑強ノ態度ニ出テ右フエデラル會社ヲシテ上海ニ於テ敷地ヲ買收シ建築準備ニ著手セシメツツアリト聞ク最近新聞紙上傳フル處ニ據レハ米國政府ハ斷然支那政府ニ對シ日支間ノ契約無効ヲ言明シ自己ノ獨占權ヲ主張シ事態頗ル切迫セリト謂フ果シテ然ラハ右事實ニ對スル政府ノ所見如何

大正十二年十二月二十日

衆議院議長 伯爵山本權兵衛

衆議院議員 仙波太郎君提出上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員 仙波太郎君提出上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

三井無線電信契約ハ大正七年三月三井物產會社ト支那海軍部トノ間ニ締結セラレ之ニ關聯シ支那政府ハ三井物產會社ニ對シ三十年間同政府自ラ若ハ他人ヲシテ外國ト通信スル無線局ヲ建設シ若ハ建設セシメサルコトヲ約シ同會社ニ於テ北京ニ無線電信臺ヲ建設シ最近工事竣工シ外國トノ無線通信良好ノ成績ヲ收メタリ

然ルニ支那政府ハ大正十年一月米國「フエデラル」無線電信會社ニ對シ上海ニ無線電信臺建設ヲ許可シタルヲ以テ帝國政府ハ爾來支那政府ニ對シ抗議ヲ繼續シ來リタリ殊ニ最近支那政府ニ我抗議ヲ無視シ「フエデラル」契約ヲ確認セントスル意向ナルヤニ傳ヘラレタルヲ以テ帝國政府ハ在支公使ヲシテ屢々支那政府ニ對シ嚴重抗議セシメタルガ尙此上共三井物產會社ノ權利擁護上最善ノ努力ヲ盡ス所存ナリ

右及答辯候也

大正十二年十二月二十日

外務大臣 男爵伊集院 彦吉

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一昨十九日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
大正十二年勅令第四百三號(承諾ヲ求ムル件)(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件)

議長(伯谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸

星島	建郎	横山	原村	春日	川村	中島	則元	鷗澤	總明君	磯田	衆三郎君
二	二	勝太郎君	俊次郎君	俊次郎君	數郎君	由庸君	高木	第四郎君	蓮井	藤吉君	
南	留三郎君	清水	望月	黑住	木村	清三郎君	成章君	小太郎君	高柳	覺太郎君	鼎三君

君、本日山本内閣總理大臣ヨリ詔書ヲ傳達サレマシタ、茲ニ之ヲ捧讀致シマス、諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

朕十二月二十三日マテ三日間帝國議會會期ノ延長ヲ命ス

鹿兒島縣第五區選出議員萩亮君、昨十九日逝去ノ報ニ接シマシタ洵ニ哀悼ノ至ニ堪ヘマセヌ、先例ニ依リマシテ議長ヨリ弔詞ヲ御贈リ致スコトニ致シマス、本日ノ日程ニ掲ゲマシタ質問一ヨリ六ニ對シマシテ、政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタ仍テ日程ヨリ之ヲ省キマス、右ニ對シテハソレハ意見陳述ノ申出ガアリマスガ、適當ノ時機ヲ見計ヒマシテ其發言ヲ許シマス、日程第一、非常徵發令、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス——後藤國務大臣

第一 非常徵發令(承諾ヲ求ムル件)(貴族院送付)

右本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十二年十二月十九日

貴族院議長 公爵德川家達

衆議院議長 柏谷義三殿

非常徵發令

右帝國憲法第八條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十二年十二月十一日

内閣總理大臣 伯爵山本權兵衛
内務大臣 子爵後藤 新平
文部大臣 岡野敬次郎
海軍大臣 財部 彪

陸軍大臣 男爵田中 義一
農商務大臣 男爵田 健治郎
逓信大臣 犬養 毅
司法大臣 平沼騏一郎
鐵道大臣 山之内 次
大藏大臣 井上準之助
外務大臣 男爵伊集院彦吉

〔國務大臣子爵後藤新平君登壇〕

○國務大臣(子爵後藤新平君) 茲ニ提出ニナリマシタ非常徵發令ノ事後承諾ヲ求ムル理由ヲ申述ベマス、大正十一年九月ノ震災ニ基ク被害者ノ救済ニ必要ナル物件、又ハ勞務ニ付、非常徵發ノ途ヲ開クノ必要アリト認メマシテ、帝國憲法第八條第一項ニ依リ、本勅令ノ公布ヲ致シマシタ、而シテ徵發物件ニ對スル賠償價格ノ決定、其他ノ殘務ハ未ダ完了セザルモノガアリマス、是等ノ殘務ハ本勅令ニ依ツテ處理スルヲ適當ナリト認メマスガ故ニ、本勅令ハ尙ホ將來ニ向ツテ其效力ヲ有セシムル必要ガアルノデアリマス、仍テ茲ニ帝國憲法第八條第二項ノ命ズル所ニ從ツテ、帝國議會ノ承諾ヲ求ムル爲ニ本案ヲ提出致シタノデアリマス、御審議ノ上協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○高見之通君 本案ハ政府提出、臨時物價供給令承諾ヲ求ムル件外一件ノ委員ニ併セ付託サレンコトヲ望ミマスカ
○議長(柏谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ勅諭ノ如ク決シマシタ、日程第三、大正十二年勅令第四百五號、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス——田農商務大臣

第三 大正十二年勅令第四百五號(承諾ヲ求ムル件)(褻利取締ノ件)(貴族院送付)

大正十二年勅令第四百五號

右本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十二年十二月十九日

貴族院議長 公爵德川家達

衆議院議長 柏谷義三殿

大正十二年勅令第四百五號

右帝國憲法第八條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十二年十二月十一日

内閣總理大臣 伯爵山本權兵衛
内務大臣 子爵後藤 新平
文部大臣 岡野敬次郎
海軍大臣 財部 彪
陸軍大臣 男爵田中 義一
農商務大臣 男爵田 健治郎
逓信大臣 犬養 毅
司法大臣 平沼騏一郎
鐵道大臣 山之内 次
大藏大臣 井上準之助
外務大臣 男爵伊集院彦吉

〔國務大臣男爵田健治郎君登壇〕
○國務大臣(男爵田健治郎君) 本案承諾ヲ求ムル理由ノ大體ヲ御說明申上ゲマス、此度ノ大震災ニ於キマシテ、家屋物件等ノ破壊燼燒ト云フモノハ實ニ甚大ナルコトデアリマス、ソコデ生活ノ必需品竝ニ家屋建築材料、其他ノモノガ急激ナル損害

ヲ受ケマシタ爲ニ、物資ノ需要ト云フコトガ急ニ起ツタノデゴザイマス、此場合ニ於テ一方ニハ通信機關又ハ交通機關ナドノ非常ナル破壊ヲ來シ、又地方ニ於テハ金融機關若クハ倉庫或ハ配給機關ト云フヤウナモノモ殆ド全滅ノ有様デアリマスガ故ニ、此物資需要ガ全ク均衡ヲ失フト云フ慘狀ヲ呈シタノデゴザイマス、斯カル場合ニ於テハ、動トモスルト其間ニ乗ジテ或ハ買占トカ、賣惜ミトカ云フヤウナルコトデ、不當ノ暴利ヲ貪ル弊ガ起リ易イモノデゴザイマス、斯カル趨勢ニ放任シテ置イタナラバ、罹災者ハ申スニ及バズ、一般國民ノ生活ヲ脅威スルト云フ虞ガアルノデゴザイマスガ故ニ、豫メ是等ノ奸商ヲ取締ツテ、必然此價格ノ暴騰ヲ抑止スルト云フコトハ、最も必要ノ事ト認メマシテ、本令ノ發布ヲ見ルニ至ツタ次第デゴザイマス、此本令發布ノ爲ニハ、兎ニ角價格暴騰トカ云フヤウナコトニ付テハ、大ニ效能ガゴザイマシテ、是ガ爲ニ數多ノ違反者モ出マシタケレドモ、併ナガラ段々其法令ノ趣旨ガ徹底シマスルニ付テハ、ソレ等ノ違反者モ少クナリ、又物價ノ不自然ナル、急激ナル暴騰ヲ抑制スルコトモ出來タノデアリマス、斯カル次第デアリマスカラ、本令ヲ尙ホ將來ニ繼續スル必要ガアリマス、憲法ノ條章ニ依リマシテ、茲ニ事後承諾ヲ御求メスル次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上、御處分アラシコトヲ希望致シマス

○議長(粕谷義三君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○高見之通君 本案ハ臨時物資供給令、承諾ヲ求ムル件外ニ件ノ委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシ

ト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、臨時物資供給令、承諾ヲ求ムル件、日程第六臨時物資供給特別會計令、承諾ヲ求ムル件、右兩案ヲ一括シテ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長田邊熊一君

第五 臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件) (委員長報告)

報告書

一臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノニ非スト議決致候此段及報告候也
大正十二年十二月十九日
臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件)委員長
田邊 熊一

衆議院議長粕谷義三殿

第六 臨時物資供給特別會計令(承諾ヲ求ムル件) (委員長報告)

報告書

一臨時物資供給特別會計令(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノニ非スト議決致候此段及報告候也
大正十二年十二月十九日
臨時物資供給特別會計令(承諾ヲ求ムル件)委員長
田邊 熊一

衆議院議長粕谷義三殿

用ニ供スル機械、器具、及材料ノ供給ヲ圓滑ニスル目的ヲ以テ、本案ヲ提出シタノデアリマス、隨テ物資ノ買入、賣渡、交換、加工、若クハ貯藏ヲ爲シ、又ハ他人ニ委託シテ買入、若クハ賣渡ヲ爲スコトヲ得ル大體ノ目的デアリマスガ、非常時ニ際シマシテ、此非常ノ手段ハ適當ノ支出ナリト認メマシテ、大體ニ於テハ、委員會ハ此施設ノ適當ナルコトヲ認メマスルガ、併ナガラ平時既ニ總テノ機關ノ回復シタル今日ニ於テ、尙ホ之ニ承諾ヲ與フルノ可否ニ付テハ、色々ノ質問應答ヲ重ネタノデアリマス、大體種々ノ質問ガゴザイマシタガ、歸スル所ハ民業ヲ壓迫スルノ虞ナキヤ、是ガ第一問デアリマス、而シテ最早商業機關並ニ貿易能力ナリ、或ハ輸送能力等モ、相當ニ回復致シマシタ以上ハ、成ベク官業ヨリモ、經驗アル當業者ニ一任シタガ適當デハナイカト云フ意味ノ質問デアリマス、政府ハ現在ニ於テハ、海外及内地等ニ購入ノ約束ヲ致シマシタ金額ハ、約四千六百萬圓アリマス、現在ニ於テハ既ニ二千六百萬圓支出シテ居ル、今買付ケノ主ナルモノヲ申シマスレバ、木材ニ於テ二千六百五十萬圓亞鉛類ニ於テ五百六十萬圓、釘類七十萬圓、薪炭六十二萬圓、斯ノ如ク材料ヲ購入スル約束ニナツテ居ルノデアリマス、海外ノ材料ハ明年ノ三四月頃ヨリ、遅クモ六七七月頃迄ニハ到達スルサウデアリマス、御承知ノ如キ狀態デアリマスガ故ニ、政府ノ意見トシテハ、成ベク材料ヲ多ク手ニ持ツテ居ツタナラバ、商人ガ暴利ヲ貪ルト云フヤウナ場合ニハ、之ヲ掣肘シテ、即チ物資ノ圓滑ナル關係ハ、隨テ物價ノ調節ニモナル事柄デアルカラ、暫クノ間持續致シタイ政府ノ意見デアリマシタ、討論ニ入リマシタ末、一審房治郎君ヨリ、本案ハ民業ヲ壓迫スル虞ガアル、又經驗アリ信用十分ノ當業者ニ一任シテ、政府ガ成ベク之

ヲ適當ニ援助スル方ガ、最モ此圓滑ナル目的ヲ達
フルニ近カラウ、宜シク此際政府ハ運送機關等ニ
相當ノ注意ヲ拂ツテ、之ヲ監督助成セシムル方ガ
適當デアルト云フ御提案ガアリ、憲政會ノ藤井君
ヨリ、本案ハ暫ク此儘持續スル方ガ宜イト云フ御
意見モアリマシタガ、採決ノ結果、一名ヲ除ク外
全部、本案ハ承諾ヲ與ヘル必要ナシト云フコトニ
決定シタノデアリマス、次ニ勅令第四百二十一號
臨時物資供給特別會計會ハ、前案ガ既ニ承諾ヲ與
ヘズト決定シタ以上ハ、當然ノ歸結トシテ、本案
亦承諾ヲ與ヘルベキモノニアラズト決定シタノデ
アリマス、委員會ノ大要ハ斯ノ如キモノデアリマ
ス、此段御報告致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 討論ノ通告ガアリマセヌカ
ラ採決ヲ致シマス、兩案トモ委員長ノ報告ハ不承
諾デアリマス、此委員長ノ報告ニ御異議アリマセ
ヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍
テ兩案トモ承諾ヲ與ヘザルコトニ決シマシタ、次
ハ日程第七、大正十二年勅令第四百二十四號、承
諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス、委員長指田義雄
君

第七 大正十二年勅令第四百二十四號(承
諾ヲ求ムル件) (委員長報告)

報告書
一大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ム
ル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候
此段及報告候也

大正十二年十二月十九日
大正十二年勅令第四百二十四
號(承諾ヲ求ムル件)委員長
指田 義雄

衆議院議長粕谷義三殿

決議

本令ニ因リ政府カ日本銀行ニ對シ爲シタル命令
中經濟復興ニ支障トナル可キ條項少ナカラス例
之利子歩合ヲ日歩二錢四厘ノ高率ニ指定シタル
カ如キ又取立延期期間ヲ二箇年內ニ制限シタル
カ如キ現在經濟界ノ要望ニ副ハサルモノ頗ル多
シ
政府ハ將來本令ノ運用ニ付特ニ經濟ノ復興ニ留
意シ日本銀行ニ對スル利率、年限其ノ他ノ命令
條項ヲ適當ニ改訂スルコトヲ要ス
右決議ス

〔指田義雄君發壇〕

○指田義雄君 大正十二年勅令第四百二十四號、
承諾ヲ求ムル件、特別委員會ノ顧末ヲ御報告申上
ゲマス、本令ハ御承知ノ如ク、大震災直後ノ經濟
界ノ安定ヲ期シマスル目的ヲ以テ、大正十四年九
月三十日以前ノ滿期日ニシテ、而シテ大正十三年
三月三十一日迄ニ割引シタル銀行ノ手形ニ對シ
テ、若シ損失ヲ生ズル場合ニ於テハ、國家ハ一億
圓ヲ補給スルノ勅令ノ趣旨デアリマス、委員會ハ
大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、詳細ニ質問應答ノ
末、二回ニ互ル懇談會ヲ開會致シマシテ、政府ニ
對シテ種々意見ヲ叩イタノデゴザイマスガ、結局
委員會ニ於ケル各派ヲ通ジタル滿場一致ノ意見
ハ、本令ニ承諾ヲ與ヘルト共ニ、更ニ本案ノ效果
ヲシテ益、經濟復興ノ爲ニ發揮セシメマスル目的
ヲ以テ、一ツノ附帶決議ヲ爲スベキコトニ相成ツ
タノデアリマス、附帶決議ヲ念ノ爲ニ朗讀ヲ
致シマシテ、簡單ニ其趣旨ノ在ル所ヲ説明致シテ
置キタイト思フノデアリマス、附帶決議、本令ニ
據リ政府ガ日本銀行ニ對シ爲シタル命令中、經濟
復興ニ支障トナルヘキ條項少カラス、之ヲ例スル
ニ利子歩合ヲ日歩二錢四厘ノ高率ニ指定シタルカ
如キ、又取立延期期間ヲ二箇年內ニ制限シタルカ

如キ、現在經濟界ノ要望ニ副ハサルモノ頗ル多シ、
政府ハ將來本令ノ運用ニ付特ニ經濟ノ復興ニ留
意シ、連ニ日本銀行ニ對スル利率、年限、其他ノ
命令條項ヲ適當ニ改訂スルコトヲ要ス、右決議ス
是ガ委員會ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テ決定セ
ラレマシタ附帶決議ノ文章デアリマス、此附
帶決議ヲ爲スノ至リマシタ理由ノ主ナル要旨
ハ、政府ノ説明スル所ニ依リマスルト、本令發布
ノ趣旨ハ、第一ハ震災直後支拂猶豫令ノ撤廢ニ際
シマシテ、銀行其他ノ金融機關ニ動搖ヲ生ズルコ
トヲ防止致シマスル目的ヲ以テ、即チ財界ノ一時
ノ安定ノ目的ヲ以テ、本令ヲ發布セラレタノデア
ルガ、併シ議員ノ質問ノ中ニ繰返サレマシタ如ク、
帝都復興ノ中ニ最モ必要デアルト認ムル經濟復興
ノ意味、更ニ具體的ニ言ヘバ、經濟界ヲ救済スル
意味ハ、含ンデ居ラヌトハ申サヌケレドモ、其分量
ハ震災直後ノ財界ヲ安定スル目的ヲ以テ、大正十
三年ノ三月三十一日迄ニ割引シタル手形ヲ、補償
スルト云フ其趣旨ニ伴フ分量ニ於テ、經濟救済ヲ
考ヘテ居ルノデアル、斯様ナ答辯デアルノデアリ
マス、之ヲ約メテ申シマスレバ、主ナル目的ハ、一
時財界ノ安定ヲ圖ルコトガ主ナル目的デアツテ、
此目的ヲ達スル程度ニ於テ、財界ニ良キ結果ヲ齎
シタイト云フ位ナ意味ノ救済ヨリ外、含ンデ居ラ
ヌト云フコトデアツタノデアリマス、更ニ又此一
億圓ヲ國家ガ補償スルト云フ基礎ガ、何處ニ在ル
カト云フコトノ間ニ對シマシテハ、政府ハ當時ノ
問題トナルベキ、即チ此勅令ノ適用ヲ受クベキ手
形ヲ、約五億圓ト見タノデアル、其五億圓ノ二割
ニ對スル所ノ、即チ一億圓位ヲ國家ガ補償シタナ
ラバ、財界ハ安定スルモノデアルト考ヘテ居ル、
斯様ニ豫期致シマシテ、此勅令ガ出タノデアリマ
スルガ、圖ラザリキ、此運用ノ結果ニ於キマシテ
ハ、現在多少ノ増減ハゴザイマスルケレドモ、此

勅令ノ爲ニ割引セラレテ居ル所ノ金額ハ、僅ニ六
千萬圓乃至九千二百萬圓ニ過ギナイノデゴザイマ
ス、即チ國家ハ五億圓ヲ貸出シテ、其ニ割ヲ補償
スル目的ヲ以テ此勅令ガ發布セラレタニ拘ラズ、
其實行ノ上ニ於キマシテハ、損ヲシヤウト考ヘタ
一億圓ニモ達シナイ、其貸出ノ金額ガ僅ニ六千萬
乃至九千二百萬ト云フヤウナ數字ニ相成ツテ居
ルコトニ付テハ、果シテ是ガ經濟界ノ實狀ニ能ク
合致シテ、此勅令ノ目的ヲ達スルコトガ出來得ル
ヤ否ヤト云フコトニ付テ、大ニ委員會ハ疑ヲ懷イ
タノデアリマス、仍テ此勅令ノ效果ヲ發揮スル上
ニ於テ、支障トナルベキ點ガ何レニ在ルカト云フ
コトヲ、段々政府ト意見ノ交換ヲ致シテ見マシタ
所ガ、茲ニ指摘スベキモノハ、即チ先ヅ第一ガ利
子ノ點デアアルノデアリマス、元來日本銀行ノ公定
利率ハ、日歩二錢二厘デアアルノ拘ラズ、本令ニ
依ツテ貸付ケル所ノ金額ハ、二錢四厘ノ高利ヲ徵
シテ居ルノデアリマス、更ニ又回收ノ年限ニ至リ
マシテモ、僅ニ大正十四年ノ九月迄、即チ二箇年
ヲ經過スルコトガ出來ナイコトニ相成ツテ居ル、
又實際ノ事情カラ調ベテ見マスト云フト、此勅令
ハ二箇年間財界ノ安定、若クハ或ル程度ニ於ケル
經濟界ノ救済ヲ考ヘタノデアアルケレドモ、銀行ト
手形債務者トノ間ニ於キマシテハ、二箇年ヲ据置
クドコロノ事デハナイ、一旦此法令ニ依ツテ手形
ノ再割引ヲ求メマシタ者ハ、再び書換ヲスルコト
ガ出來ナイ、即チ二箇年之ヲ据置クト云フヤウナ
勅令ノ趣旨ハ、徹底ヲ致シテ居ヌノデアアル、又
手形ノ取引ニ付キマシテモ、種々ナル面倒ナル條
件ガゴザイマシテ、此勅令ヲ運用スル上ニ於テ、
種々實行上ニ支障トナルベキモノガ多イノデ
アリマス、委員會ハ此度ノ帝都復興ニ關シ
マシテ、或ハ道路、建築、此帝都ノ外觀ノ復
興ヲ致シマスルコトモ、或ハ急務デゴザイマ

セウ、サリナガラ經濟上ノ復興、經濟的施設
ト云フモノガ之ニ伴フニアラザレバ、何等復興
ノ目的ヲ有意義ナラシムルコトガ出來ナイデア
ルニ拘ラズ、現内閣ノ施設ヲ見ルニ、幾多ノ緊急
處分モアツタノデゴザイマスルケレドモ、稍、經
濟復興ニ關レテ居ルカト考ヘルコトノ出來ルノ
ハ、此勅令一ツデアアル、然ルニ此勅令モ亦政府當
局ノ説明スル所ニ依リマスレバ、財界ノ動搖ヲ防
グ其目的ヲ達スル分量ニ於テ、其程度ニ於テ、幾
ラカ經濟界救済ノ目的ヲ達シ得ラレルデアラウト
云フガ如キ、甚ダ微温的ノ政策デアアルノデアリマ
ス、苟モ帝都ノ復興ヲ期待致シマスルナラバ、農
村ノ資金ニ於テ、商工業者ノ金融ノ狀態ニ於テ、
大ナル施設ヲ必要ト吾々ハ考ヘルノデアリマス
(拍手) 此意味ニ於キマシテ、若シ勅令ノ趣旨ガ
少クモ經濟復興乃至ハ救済ノ意味ヲ含シテ居ル
ナラバ、將來運用ニ支障トナルベキ所ノ總テノ條
件ニ付テ、適當ナル改訂ヲ日本銀行ニ命ジテ、此
勅令ノ效果ハ經濟復興ニ向ツテ大ニ其威力ヲ發揮
スベク、吾々ハ此要望ヲ致シタノデアリマス、此
趣旨ニ於キマシテ、委員會ハ本令ヲ承諾ヲ與ヘマ
スルト同時ニ、強イ意味ニ於キマシテ、非常ニ強
キ意味ニ於キマシテ、此附帶決議ヲ致シタ次第デ
ゴザイマスカラ、本會ニ於キマシテモ滿場一致御
賛成アラント希望致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 直ニ採決ヲ致シマス、委員
長ノ報告通り、本案ニ承諾ヲ與フルニ御異議アリ
マセメカ

〔異議ナシ(異議ナシト呼フ者アリ)〕
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍
テ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、此際議事進行
ニ付テ發言ヲ求メラレタ方ガアリマス、其發言ヲ
許シマス——植原悦二郎君

○植原悦二郎君 簡單デアリマスカラ自席カラ御

許ヲ願ヒマス、申ス迄モナク今回ノ前代未聞ノ大
震災及大火災ノ善後策ヲ決定スル爲ニ、茲ニ臨時
議會ガ開カレタモノデアリマス、故ニ斯様ナ非常
ナ場合ニ於キマシテハ、極メテ制限サレテ居ル所
ノ日子ノ中ニ於テ、重要ナル所ノ案件ハ、吾々國
民ヲ代表スル者トシテ慎重ヲ期サナケレバナラヌ
コトハ勿論デアリマスケレドモ、最モ迅速ニ吾々
ガ努力シテ諸般ノ問題ノ解決ヲ致サナケレバナラ
ナイコトト信ジテ居リマス、而シテ此臨時議會ニ
於テ最モ重要ナル案ト申シマスレバ、復興計畫
ニ關スルモノト、火災保險ノ解決ニ關スル此
問題デアル事思ヒマス、火災問題ノ解決ニ付
テノコトハ、既ニ天下ニ色々ノ議論モアリマス
コトデ私ガ述べル必要モゴザイマセヌ、併ナガ
ラ政府ハ一定ノ提案ヲ爲シテ議會ニ示シテ居リマ
ス、ソレニ依リマシテモ被保險者ノ件數三十萬
ニ超エテ居リマス、其保險金額十八億、政府ノ提
案ニ依ルモノヲ承認スルトシマスレバ、其ニ割ト
致シマシテモ一億八千萬圓ノ金ヲ支出致シマシ
テ、被保險者ノ保險金額ノ二割ヲ此年末ニ支拂フ
ト云フ所ノ計畫デアリマス、此問題ハ實ニ横濱、
東京、即チ罹災地一般ノ人民ニ對シテ極メテ重大
ナル問題、延イテハ此問題ニ依ツテ經濟、業ノ復
興ニモ夥カラザル關係ガアル問題デアリ、斯
様ナ問題ヲ努メテ迅速ニ決定致サナイコトハ、半
バ營利的デアアリマスケレドモ、半バ公共的ノ意
味ヲ有スル所ノ保險會社ニ對シテモ、極メテ不安
ノ狀態ニ陷ラシムルコトデアリマセウ、又一般ノ
社會政策、經濟復興ノ立場カラ申シマシテ、此問
題ニ對シテ迅速ニ此議會ノ態度ヲ決定シナイト云
フコトハ、罹災地ニ於ケル所ノ多數ノ罹災人ヲ不
安ナ狀態ニ陷レル許リデナク、將來ノ經濟產業ノ
復興ニモ重大ナル關係アルコト、私共憂慮致シテ
居リマス、而シテ殆ド此臨時議會ノ劈頭ニ於テ復

與ト前後シテ火災保險解決ノ問題ガ政府カラ提出
サレマシタ、案其モノカラ申シマスルナラバ、復
興豫算ノ如クニ多岐ニ互ツテ居ルモノデアリマセ
ヌケレドモ、委員會ニ於キマシテハ、委員諸君ハ
隨分勉強ナサレマス、併ナガラ議事ノ進行極メテ
遅タト致シテ居リマス、今朝モ委員會ヲ開キマシ
タ、今日ノ午後モ此問題ハ開カナケレバナラヌ答
デアリマスガ、開カナイト云フ支障ノアルベキコ
トハ、如何ナル方面カラ觀察致シマシテモ、私共
アルベキコト、推測スルコトガ出来マセヌ、ソレ
デアリニモ拘ラズ、委員會ノ開會ヲ色々ノ事ニ託
シテ迅速ニ解決ヲサレナイ、或時ハ早ク閉會サレ
ルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、是ハ實ニ罹災
地ニ於ケル所ノ總テノ人民、保險會社並ニ日本全
國民ノ經濟産業ノ復興ニ對シテ、重大ナル關係ガ
アル事デアリマスカラシテ、議長ニ於カレマシテ
ハ、委員長ニ其旨ヲ傳ヘテ、速ニ委員會ヲ開キ、
成ベク努力致シマシテ、此問題ノ最後ノ決定ヲ與
ヘルヤウニ御傳ヘアラシコトヲ希望致スノデアリ
マス（拍手）

○廣岡宇一郎君 私ハ此際保險法案ノ委員長ト致
シマシテ一言申シタイト思ヒマス、自席ヨリ發言
ヲ——此法案ヲ急速ニ解釋スルト云フ御趣意ニ於
テハ、本員植原君トノ間ニ何等變リハゴザイマセ
ヌ、從來ト雖モ相當之ニ努メテ居ル筈デアリマ
ス、本朝モ即チ委員會ヲ開イタ、併ナガラ斯ノ如
キ重大ナル法案ハ、從來ノ慣例ニ於キマシテモ各
派ニ於テ十分ノ打合ス必要ガアル、一昨日豫算
委員會ガ休會シタ如キモ皆各派ノ此豫算ヲ如何ニ
取扱フカト云フ態度ヲ決メルヤウナ關係カラシテ
休マレタ、斯様ナ意味ニ於テ本日午後ハ休ミ、更
ニ明日午前十時ヨリ開會スルコトヲ各委員ニ諮ツ
テ、委員ノ同意ヲ得テ本日午後休會ヲ致シテ居ル、
本員ハ植原君ガ委員會ニ出席シテ居ツテ、此本日
午後休會スルコトニ付テ植原君ガ發言ヲ爲サレ、

殊更ニ數時間ヲ隔ツタ本會ニ開會ヲ迫ラレルト云
フコトハ、其心事ヲ解スルニ苦ム者デアリマス

○岩崎勳君 議長

○議長（粕谷義三君） 岩崎勳君、何デスカ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル……

○植原悦二郎君 議長——議長

○議長（粕谷義三君） 岩崎君ニ發言ヲ許シマシタ

○岩崎勳君 モウ一度申上ゲマス、議事日程ノ順
序變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲
ニ日程第二十以下ノ請願特別報告ヲ一括議題ト爲
シ、請願委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メ
ラレンコトヲ望ミマス

○議長（粕谷義三君） 呼フ者アリ

○議長（粕谷義三君） 岩崎君ノ動議ハ先決問題デ
アリマス、直ニ採決致シマス、岩崎君ノ動議ニハ
御異議アリマセスカ

○議長（粕谷義三君） 異議ナシト呼フ者アリ

○議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマス、仍
テ動議ノ如ク決シマス、即チ日程ハ變更セラレマ
シタ、日程第二十ヨリ第三十六マデニ至ル各請願
ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委
員長不在デスカ——委員長不在ニ付キ理事佐野正
雄君

- 第二〇（特別報告第一號）金鵒勳章年金
額改正ノ請願（委員長報告）
- 第二一（特別報告第二號）帝都ニ飛行場
設置ノ請願（委員長報告）
- 第二二（特別報告第三號）議員神宮參拜
ノ請願（委員長報告）
- 第二三（特別報告第四號）荷車取締法制
定ノ請願（委員長報告）
- 第二四（特別報告第五號）天皇陛下ノ御
肖像並勅語ノ新聞及雜誌掲載方

- 第二五（特別報告第六號）僻陬地醫師ニ
關スル請願（委員長報告）
- 第二六（特別報告第七號）内地移入階級
館保稅倉庫設置ノ請願（委員長報告）
- 第二七（特別報告第九號）小學校教員俸
給國庫支辨ノ請願（委員長報告）
- 第二八（特別報告第一〇號）罹災地工業
復活ニ關スル請願（委員長報告）
- 第二九（特別報告第一一號）紀勢鐵道速
成ノ請願（委員長報告）
- 第三〇（特別報告第一二號）豐原鐵道停
車場開始ノ請願（委員長報告）
- 第三一（特別報告第一三號）益田、瀨部
間鐵道敷設速成ノ請願（委員長報告）
- 第三二（特別報告第一四號）秋、小郡間
鐵道敷設速成ノ請願（委員長報告）
- 第三三（特別報告第一五號）三保三隅、
鎌手驛間ニ停車場設置ノ請願（委員長報告）
- 第三四（特別報告第一六號）三江鐵道敷
設ノ請願（委員長報告）
- 第三五（特別報告第一七號）江崎港、小
濱驛間鐵道敷設速成ノ請願（委員長報告）
- 第三六（特別報告第一八號）遠美鐵道敷
設ノ請願（委員長報告）

特別報告第一號

意見書

請願文書表第六號

金鵄勳章年金額改正ノ請願 兵庫縣川邊郡伊丹町二百十五番地商山中卯三郎外七十四名提出(紹介議員下岡忠治君)

右請願ノ要旨ハ勳章ノ制定ナキ封建時代ニ於テハ武功ノ表彰ハ一其ノ優劣ニ應シ祿高ヲ給賜シタリ現在金鵄勳章年金令ニ於テ武功ノ拔群者ニ對シ名譽ノ勳章ト相俟テ年金ヲ加賜セララルハ名實相悖ヒ誠ニ深遠ナル御恩召ニ依ル思實方ナリ而シテ制定當時ノ功七級年金百圓ハ米三十俵ノ價格ニ相當シ又巡查ノ年俸給額ニ相當セリ然ルニ制定後將ニ三十年ニ垂ムトスル今日尙ホ此ノ儘ニ放置シテ願ミサル如キハ一ハ御制定當時ノ趣旨ニ反シ一ハ最近改正増額セララル一般恩給ニ比シ均シク國家ノ功勞者ヲ遇スル上ニ於テ失當ニシテ殊ニ軍縮ニ依ル退職者ノ一時賜金ノ利潤額ニモ及ハサル如キハ假令年金ノ性質彼此異ナルト雖戰場ニ馳騁シタル殊勳者ニ對シ物質的優遇ノ途ヲ誤リ延テ將來ノ國民思想上ニ動搖ヲ來シ愛國ノ觀念ニ一夫缺陷ヲ生センコトヲ恐ル故ニ速ニ金鵄勳章年金令ヲ改正シ相當増額セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二號

意見書

請願文書表第一二號

帝都ニ飛行場設置ノ請願 帝國飛行協會副會長男爵阪谷芳郎外一名呈出(紹介議員安藤正純君)

右請願ノ要旨ハ世界ノ大勢ヨリ通觀スルモ帝都附近ニ水陸兼用ノ公開の飛行場ノ必要ナルコトハ言テ俟タスシテ明ナリ依テ帝都復興ノ好機會ニ際シ東京灣沿岸ニ飛行場ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第三號

意見書

請願文書表第七號

議員神宮參拜ノ請願 宇治山田市長岸本康通呈出(紹介議員濱田國松君)

右請願ノ要旨ハ國民思想ノ善導敬神崇祖ノ念ヲ感起セシメ以テ民心ヲ歸嚮テ安定セシムルト共ニ今回創立セララル新別宮倭姬宮ヲ奉拜セララル一吉例ヲ國民ニ示ス爲特ニ此ノ際今期議會中貴衆兩院議員一同打揃ヒ伊勢神宮並倭姬宮ヲ參拜セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四號

意見書

請願文書表第一〇號

荷車取締法制定ノ請願 岡山縣苦田郡津山町大字西新町六十二番地商中村直吉呈出(紹介議員福井三郎君)

右請願ノ要旨ハ荷車ハ短距離輸送機關中樞要ナルモノナリト雖之ヲ取締ノ規則各府縣區區ナル爲事實上ノ不便甚大ナリ依テ荷車取締法ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依

リ別冊及御送付候也

特別報告第五號

意見書

請願文書表第一一號

天皇陛下ノ御肖像並勅語ノ新聞及雜誌掲載方及之ヲ奉拜方法ニ關スル取締ノ請願 鳥取市西町十一番地鹽藏井田千代藏呈出(紹介議員山本藤助君)

右請願ノ要旨ハ新聞及雜誌ニ掲載セラレタル天皇陛下ノ御肖像並勅語ハ之ヲ謹拜シ町重ニ保存スル者アルモ勳モスレハ不知不識不敬ニ互ルカ如キ取扱ヲ爲ス者往々アリ誠ニ畏多キコトニシテ憂慮ニ堪ヘス依テ之ヲ紙上ノ上段又ハ附録トシテ掲載セシメ且之ヲ切抜キ各自ノ神棚ニ納メ奉拜セシムル様取締リ一般國民ノ皇室ニ對スル敬虔ノ精神ヲ徹底セシメラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六號

意見書

請願文書表第一三號

僻地醫師ニ關スル請願 岐阜縣吉城郡袖川村長尾家安之助外五名呈出(紹介議員牧野良三君)

右請願ノ要旨ハ岐阜縣吉城郡地方ハ山間ノ僻地ニシテ開業醫ナク患者ノ治療上困難カラス然ルニ村醫ヲ設置セムトスルモ村經濟ハ之ヲ許サス依テ僻地村醫設置ニ付キ僻地ニ開業スハキ醫師養成ノ爲國庫補助法ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依

別冊及御送付候也

特別報告第七號

意見書

請願文書表第二號

内地移入糖餉館保稅倉庫設置ノ請願 函館市
末廣町百四番地函館商業會議所會頭渡邊熊
四郎外九名呈出 (紹介議員佐々木平次郎君
外一名)

右請願ノ要旨ハ北海道、樺太、東北地方ニハ從
來内地移入糖保稅倉庫ノ設置ナク臺灣分蜜糖ハ
専ラ東京並横濱ヨリ供給ヲ受ケツツアリシ爲年
額四十五万俵ノ消費ニ對シ大約二十七万圓餘ノ
中繼費ヲ負擔シ來レリ加之這般ノ關東大震災ニ
依リ兩地ノ保稅倉庫倒壞又ハ燒失シタル結果之
カ供給ノ途ヲ絶タレ同地方糖界ハ宛モ其ノ飢饉
狀態ヲ現出セリ此ノ際函館港ニ右保稅倉庫ヲ設
置センカ如上ノ費用ヲ省キテ消費者ヲ益スルノ
ミナラス近來同地方ノ中央タル同港ヨリノ對臺
灣商取引ハ年額三百五十万圓以上ニ達ス此ノ多
量ナル貨物積載船腹ノ復荷トシテ砂糖ノ移入ヲ
爲ス時ハ運輸調節ト運賃經濟上頗ル都合ナル
ヲ以テ函館港ニ内地移入糖保稅倉庫ヲ設置セラ
レタシト謂フニ在リ

特別報告第九號

意見書

請願文書表第八號

小學校教員俸給國庫支辨ノ請願 鳥取市吉方
町百十二番地小學校教員鈴木鐵次外九十三
名呈出 (紹介議員山本藤助君)

右請願ノ要旨ハ舊ニ政府ハ義務教育ノ木義ニ稽
ミ義務教育費國庫負擔法ヲ制定セラレタリト雖

列強諸國カ戰後ニ於テ國民教育ノ振興ニ力ヲ致
スコト多大ナルニ比スレハ尙甚タ遺憾ナル點渺
カラス依テ教員優遇ノ途ヲ開キ義務教育ノ内容
ヲ充實スル爲妙クトモ小學教員ノ俸給額全部ヲ
國庫ニ於テ支辨セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第一〇號

意見書

請願文書表第一九號

罹災地工業復活ニ關スル請願 東京市京橋區
築地三丁目十五番地印刷業鈴木正平外八名
呈出 (紹介議員土屋興君)

右請願ノ要旨ハ這般ノ大震災災ニ依ル罹災工場
ハ災後百有餘日ヲ經ルノ今日殆ト復活スルコト
能ハサル窮狀ニ在リテ數十萬人ノ失業ヲ出シ
タルノミナラス物資ハ海外ヨリ續々輸入セラ
レツツアル狀態ニシテ我カ國產業界ノ脅威實ニ
甚シキハ國政上由山敷大事ト謂ハサルヘカラス
依テ震災地工業ノ復興ニ對シ適當ナル施設ノ方
法ヲ講セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第一一號

意見書

請願文書表第五號

紀勢鐵道速成ノ請願 三重縣度會郡大内山村
長乾敬三外二名呈出 (紹介議員伊坂秀五郎
君)

右請願ノ要旨ハ紀勢鐵道ノ連絡工事ハ遍々トシ
テ進マス前途遠達ノ折柄關東地方ノ大震災災ア
リテ之カ復興上政費節約ノ爲地方事業ノ中止云

云テ聞キタリ然リト雖沿海地方ハ森林地帶ニシ
テ帝都復興ニ要スル木材ニ富メルヲ以テ該鐵道
ノ開通ハ寧ロ急務ナリト信ス依テ該鐵道ハ速ニ
之ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第一二號

意見書

請願文書表第一四號

豐原鐵道停車場開始ノ請願 山口縣大津郡三
隅村長安富新三郎外八名呈出 (紹介議員古
林新治君外一名)

右請願ノ要旨ハ萩正明市間鐵道豐原停車場ノ營
業開始ハ同地方産業經濟ノ發達上緊要ナルヲ
以テ正明市萩間鐵道全線ノ完成ヲ俟ツコトナク
正明市停車場開通ト同時ニ若ハ一二箇月經過後
之ヲ開始セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第一三號

意見書

請願文書表第一五號

益田、瀧部間鐵道敷設速成ノ請願 山口縣阿
武郡萩町長北野右一外二十二名呈出 (紹介
議員古林新治君外一名)

右請願ノ要旨ハ山陰幹線鐵道ノ一部益田以西ハ
既ニ鐵道敷設法第一期線ニ編ハセラレ大正十四
年度竣工ノ計畫ヲ以テ進捗セラレツツアリ開通
ノ曉ハ豐富ナル利源ハ開拓セラレ地方産業ハ振
興シ國策上利スルコト多シ依テ該鐵道ヲ帝都
復興政費節約ノ影響ヲ蒙ルコトナク速ニ敷設
セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

特別報告第一四號

意見書

請願文書表第一六號

萩、小郡間鐵道敷設速成ノ請願 山口縣阿武
郡萩町長北野右一外二十七名呈出(紹介議
員古林新治君外一名)

同 第一七號

山口縣美禰郡大田町長岡崎良助外十名
呈出(紹介議員古林新治君外一名)

右請願ノ要旨ハ大正十三年度ヨリ著手セラルヘ
キ萩小郡間ヲ連絡スル山陰山陽ノ縱貫鐵道ハ軍
事上、交通上及地方産業ノ開發上重要ナル線ナ
リ依テ該鐵道ヲ帝都復興上政費節約ノ餘波ヲ蒙
ルコトナク速ニ敷設セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

特別報告第一五號

意見書

請願文書表第一八號

三保三隅、鎌手驛間ニ停車場設置ノ請願 島
根縣那賀郡三保村長藤田經太郎外二十三名
呈出(紹介議員島田俊雄君)

右請願ノ要旨ハ毎日ナラスシテ開通スル山陰縱
貫鐵道中三保三隅驛ト鎌手驛間ハ其ノ距離七哩
ニシテ沿線貨客ノ不便ハ勿論地方産業開發上ノ
不利甚大ナリ依テ三保三隅驛ト鎌手驛ト間ニ
於テ停車場ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

特別報告第一六號

意見書

請願文書表第二〇號

三江鐵道敷設ノ請願 島根縣邑智郡柏淵村農
林園三郎外三十六名呈出(紹介議員平田民
之助君外一名)

右請願ノ要旨ハ既ニ豫定セラレタル三江鐵道ノ
沿線ニハ九方餘町歩ヨリナル大森林アリテ是カ
無盡藏ノ財寶ハ其ノ鐵道ノ敷設ニ依リテ帝都復
興ニ利スルコト大ナルヲ信ス依テ前記鐵道ヲ帝
都復興ノ爲延期セラルルコトナク敷設セラレタ
シト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

特別報告第一七號

意見書

請願文書表第二二號

江崎港、小濱驛間鐵道敷設速成ノ請願 山口
縣阿武郡田萬崎村長福場邦二外八名呈出
(紹介議員國重政亮君)

右請願ノ要旨ハ山陰縱貫線ハ軍事上、交通上最
モ重要ナル線ナリ殊ニ該線中江崎港ノ如キハ日
本海岸有數ノ良港ニシテ之ト九州地方ト陸上
連絡ヲ劃ル爲小濱、江崎港間短距離ノ連絡ハ緊
要ナルヲ信ス依テ帝都復興ノ餘波ヲ蒙ラシムル
コトナク速ニ小濱驛ト江崎港間ノ鐵道ヲ敷設セ
ラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

特別報告第一八號

意見書

請願文書表第二三號

遠美鐵道敷設ノ請願 靜岡縣小笠郡掛川町長
代理助役藤田彌助外五十三名呈出(紹介議
員松浦五兵衛君)

右請願ノ要旨ハ靜岡縣小笠郡掛川町ヨリ岐阜縣
惠那郡大井町ニ至ル遠美鐵道ハ國防上、地方産
業ノ開發上最モ重要ナル線ナルニ依リテ大正
十三年度ヨリ之カ工事ニ著手スヘシト決定セラ
レシカ偶、遠般ノ帝都災厄ニ際會シ之カ復興ニ
國力ヲ傾注スルカ爲該線ノ工事ハ勢ヒ延期スル
ニ至ルヤノ杞憂ナシトセス然リテ雖該線ノ成否
ハ延テ帝都復興ノ遲速ニ關係スルトコロ甚大ナ
ルモノアリ依テ既定計畫ノ如ク之ヲ實行セラレ
タシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇ス
ヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

〔佐野正雄君登壇〕

○佐野正雄君 委員長ニ代リマシテ請願委員會ノ
結果ヲ報告ヲ致シマス、只今上程セラレマシタル
第二十乃至第三十六ニ至ル十七件ノ請願ハ、去ル
十九日委員會ヲ開キマシテ審議ヲ遂ゲ、何レモ各
案共ニ何等ノ論議ナクシテ之ヲ採擇スルコトニ決
議致シタノデアリマス、此旨御報告致シマス
○高見之通君 日程第二十以下請願特別報告ハ、
一括シテ請願委員長ノ報告ノ通り、採擇セラレン
コトヲ望ミマス
○贊成「贊成」ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議アリ
マセヌカ
○異議ナシ「異議ナシ」ト聲起ル
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍
テ日程第二十ヨリ三十六ニ至ル請願ハ、委員長報
告ノ通り採擇スルニ決シマシタ、次ハ日程第八、
關東地方ノ震災ニ罹リタル者ニ對スル債權ニ關ス
ル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者中野寅吉
君

第八 關東地方ノ震災ニ罹リタル者ニ對

スル債權ニ關スル法律案(中野寅吉提出) 第一讀會

關東地方ノ震災ニ罹リタル者ニ對スル債權ニ關スル法律案

大正十二年九月一日ヨリ同月三日迄ノ間ニ於テ關東地方ノ震災ニ罹リタル者ニ對スル震災前ニ發生シタル債權ノ行使ハ大正二十二年十二月三十一日迄之ヲ停止ス但シ債務者ノ任意ニ債權者ノ權利ノ保存行爲ハ之ヲ妨ケス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔中野寅吉君登壇〕

○中野寅吉君 諸君、此提案ノ理由ヲ申上ゲマス、ソレハ御手許ニ配付シテアル刷物デ能ク御分リデアリマセウカラ簡單ニ申上ゲマス、實ハ帝都ノ復興ト申シマシテモ、全國民ガ眞面目ニ此東京ニ同情ヲ寄セル、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノニ、ドウモ東京ノ中ニハ不心得ナ我利々々亡者ガ居ツテ、帝都復興ノ運動ヲ賣物ニシテ、自分ノ利益許リテ貪ラウトスルヤウナ不都合千萬ナ奴等ガ多イノデアアル、ソレデ私ハ此提案ヲ致シタ動機ハ斯ウデアアル、私ノ知ツテ居ル者ガ地震デ家ハ潰レ、財産ハ皆焼カレ、何トモ途方ニ暮レテ居ツタ、夫婦ト子供三人、然ルニ國カラ親類會議ヲ開イテ二百圓ノ錢ヲ、何トカ是デ以テヤレト云フコトデ送ツテ寄越シタ、ソレヲ債權者ノ奴等ガ聞知ツテ、辯護士ヲ頼ンデ、サウシテ膝詰談判デ之ヲ捲上ゲテシマツタト云フコトデアアル、斯ウ云フコトハ澤山私ハアルト思フノデアアル、何トモ家ハ潰レ、財産ハ焼カレ、二進モ三進モ行カナイヤウニナツテ、又債權門ニ迫ルト云フヤウナ有様デハ、帝都復興ナドト云フコトハ望ミ得ラレヌト思フノデアアリマス、ソレデ最初私ハ借金ノ棒引案ヲ出サウト思ツタ、併シ借金ノ棒引デハ借金ヲ濟サナクモ

宜クナツタ、ダカラ中橋徳五郎サンカラ三百圓借リテ居ツタ、ツラアノ法律デ棒引ニナツタカラ有難イ、ダカラ中橋サンニハ何所迄モ盡ス、都合ニ依ツテハ政友會ニモアノ人ノ勸メナラ這入ツテモ宜イト云フヤウニ恩ヲ感ズルナラ宜イガ、中ニハ返サウト思ツタ三百圓テ一杯飲ムトカ云フ不心得ナ奴等出ルト云フノデ、ソレデ先以テ私ハ借金ノ棒引ヲ、メテ、借金ノ催促ヲ十年ダケシナイ、十年間ダケ借金ノ催促ヲシナイ法律ヲ出シタ方ガ宜シカラウト考ヘテ、サウシテ十年中ニハ、先ヅ三百圓ノ借金ナラ一年三十圓宛溜メレバ濟サレル、十年殘シテ先ヅ三百圓ノ借金ヲ濟サナケレバナラヌカラ、朝ハ早ク起キ、飲ム酒モ飲マナイデ勉強スルト云フ奮發心ガ起ルノデアアル、ソレデ私ハ十年間債權ノ行使ヲ停止スルト云フ法律案ニシタ、ソレカラ地主ノ方デモ酷イ奴ガアル、地主ノ方ニハ暴利取締ハ利カナイ、大根五本買ツタ、炭一貫目買ツタ、ソレガ高イカラ暴利取締令デドンノ罰スルデナイカ、併シ地主ノ奴等ニ對シテハドウ云フ取締ヲスル、私ノ聞知ツタ所ニ依レバ、神田區ノ或所デ二十一坪、七千圓ノ權利ヲ出サナケレバ、イカスト云フ地主ガアル、下谷ノ徒士町デハ元五十錢ノ地代カ二十圓ニナツタ、即チ復興費ノ大部分ヲ此東京ニ議決シテヤツテモ、其肥シト云フモノハ皆地主、富豪ノ野郎共ノ肥シニナツテシマフト思フノデアアル、ソレデアルカラ此位ノコトハヤツテモ宜イ、銀行ナドト云フモノハ、今指田君ノ説明シタ通り、五億圓マデ日本銀行カラ借りラレルデナイカ、而シテ一億圓ダケハ損失補償ヲスルト云フ、銀行ニハ斯ウ云フ活路ガアル、然ルニ細民ニハサウ云フ活路ガナイ、ドウシテモ十年位ハ貸シタ者ハ待ツテセル必要ガアルト思フ、又其貸シタ方カラ、私ハ貸方ノ分デアルカラ——借方ノ分デアルカラ今ノハ違ツタ、私ハ人ニ貸シタコ

トハナイ、借りタコトハアルケレドモ、——借方ノ議論デアルカラ矛盾スル點ガアルカモ知レヌ債權者モ關東地方ノ貸シテ置イタ者ガ、此地震ノ爲ニ債務者全部ガ死ンデシマツタト諸マタ方ガ宜カラウ、死ンデシマツタト觀念シタナラバ棒引位ハ何デモナイ、若シ債務者ガ死ンデナラバ、平常ノ交際上香奠モ一圓カ二圓包マナケレバナラヌ、ソレヲ幸ニ債務者ガ生キテ居ツタノデ、香奠ダケヲ得タト思ヘバ宜イデハナイカ、香奠ダケヲ得タト云ウ風ニシモ貰ヒタイ、債權者モ自分ガ死ンダ、安田一家ハドウダ、横網町デ大概死ンデシマツタ、死ンデ財産ヲ持ツテ行カレナイデハナイカ、御互ニ人ト人トノ交際シテ居ル間ハ、自分モ立場ガ困ラナイヤウニ、人モ難儀ヲシナイヤウニ持ツツ持ツテ行クノデハナイカ(怒ツテ許リ居テハ駄目デナイカ、モットオカシクヤレト呼フ)阿部君カラ御注意ガアリマシタカラ、モウ少シオカシクヤツテモ宜イ、火災保險デモ斯ウ云フコトハ握リ潰シタ方ガ宜イ、廣岡君ノ委員長振ハ大賛成デアリマス、斯ウ云フモノハ引延シテ置イテ、サウシテ審議未了ニ終ラセル方ガ一番宜イト思フ、ソナナ詰ラナイ法案ガアルカ、一體火災保險ニ交ツテ居ル奴ニ一割呉レテ、交ラナイ罹災者ニ一文モ呉レナイデ貴様指ヲ咬ヘテ見テ居レト云フ話ガアルカ、ソナナ詰ラナイ議論ハアルモノデナイ、ソレデハ何デ火災保險ニ交ツテ居ナカツタカ、ソレハ意ツテ居ルノデナイカト云フ、是ハ意ツテ居ルノデハナイ、生命保險デモ、火災保險デモ、交ツテ居レバ確カニ宜イト云フコトハ知リツ、モ、目前ノ暮シニ追ハレルカラ交ラナイノデハナイカ、然ルニ火災保險ニ交ツタ者許リニ一割呉レテ、交ラナイ者ニ更ニ構ハナイト云フノハドウ云フ譯ダ、此ヤウナ案ハ握潰シタ方ガ宜イ、ドウカ多數

ナル政友會諸君ハ、ドウシテモ是ハ二日三日出サナイ方ガ宜イト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ僕ハ憤慨ニ堪ヘナイモノガアル、東京市民ガ三百万居ル中ニ、復興審議會ニ於テアレダケノ豫算ヲ削ラレ、又此議場ニ於テアレダケノ豫算ヲ削ラレ、唯、一人樂ニシタクモ義憤ヲ發スル者ガ無イデナイカ、此大勢ノ市民中ヨリ義憤ヲ發スル者ガ一人位出テモ宜カラウト思フノデアル(君ヤレト呼フ者アリ) 無禮千萬ダ、不異面目千萬ダ、僞ハ東京市民ジヤナイ、福島縣平民ダ、併シ是ハ私ハ大ニ此實際ニ困ツテ居ル人ト爲ニ、皆サシノカモ借リテ、サウシテ法律ヲ出シテ、何トカ助カル方法ヲ講ジタイト思ツテ此案ヲ作リマシタガ、政友會ノ近シイ人ニモ意見ヲ聴キ、庚申俱樂部ノ人ニモ勿論意見ヲ聴キ、革新俱樂部ノ近シイ人ノ意見ヲ聴キ、我が憲政會ノ近シイ人ニモ意見ヲ聴キマシタガ、此案ハ良イ案デハアルケレドモ、モウ少シ研究ヲヤツタラ宜カラウト云フコトデアル、ソレデ私ハ此會期切迫ノ際ニ、此議案ノ討議ノ爲ニ他ノ重要ナ議案ヲ妨ゲテハイカスカラ、此際ハ此案ヲ撤回シテ、普通ノ議會ニ於テ私ハ致ス次第デアル(笑聲——拍手)

○議長(粕谷義三君) 只今日程ニ上リマシタ中野寅吉君提出ノ法案ハ提出者自身ヨリ趣旨辯明ノ後ニ於テ撤回ト云フコトヲ述ベラレマシタ、議案ノ撤回ハ之ヲ議場ニ諮ツテ、之ヲ許スヤ否ヤヲ決シナケレバナラヌ、此撤回ヲ許スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、依テ撤回ヲ許シマス——日程第九、相模西部ノ復興ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、森恪君

第九 相模西部ノ復興ニ關スル建議案
(森恪君外三名提出)

相模西部ノ復興ニ關スル建議案
相模西部ノ復興ニ關スル建議案
大正十二年九月一日關東ニ於ケル大震災ノ被害ノ激甚ナリシコトハ今更喋ラ要セサルコトコロナリト雖神奈川縣相模西部ノ慘憺タル被害ハ震源地ニ接近シタル關係上實ニ筆舌ニ絶スルモノアリ其ノ實例ノ一端ヲ足柄郡ニ取ルニ家屋全數一萬六千餘棟ノ内焼失四千八百三十棟全潰六千九百六十八棟半潰三千九百八十二棟合計一萬五千七百八十棟ニ上リ辛ウシテ倒潰ヲ免レタルモノ僅々三百餘棟ニ過キス若夫道路橋梁堤防河川灌漑水路ノ破損ニ至リテハ全キモノ一トシテ有ルナシ剩ヘ十數日ヲ隔テ更ニ豪雨ノ致セル山津浪ノ爲山林ノ荒サレタルモノ丹澤山ヨリ甲斐相豆ノ界ヲ爲ス連山一帶ハ勿論山林ト稱スルモノ殆ト崩壞ノ害ヲ被ムラサルハナシ爲ニ林産農耕商工溫泉經營等悉ク營業ノ資源ヲ缺キ漁業ト雖地震ニ隨伴シテ生シタル海嘯ノ被害ニ因リ漁具漁舟ヲ失ヒ殆ト復興ノ途ニ就ケ能ハサルノ打撃ヲ受ケタリ政府ハ此ノ實狀ニ照シ速ニ熱海線鐵道不通區間ノ回復道路橋梁ノ改修農耕林産漁業資金ノ供給ハ固ヨリ國際的ニ勝地トシテ認メラル箱根一帶ノ交通ノ至急復舊施設ヲ爲シメテ西相模一帶ノ復興ヲ計ルノ措置ヲ執ルヘシ右建議ス

○森恪君 當席ヨリ陳述スルコトヲ御許ラ願ヒタイト思ヒマス、本建議案ハ震災ノ最モ激甚デアリマシタル相模ノ國ノ西部ノ復興ヲ圖ラントスル趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、案ノ内容ニ付キマシテハ、既ニ十四日付建議第一號ヲ以テ各位ノ御手許ニ配付濟トナツテ居リマスカラ、私ハ茲ニ陳述ヲ省略致シマス、定メシ委員會ニ付託セラル、コト、考ヘマスカラ、其機會ニ於テ詳細ニ皆様ニ申

上ゲタイト考ヘマス

○高見之通君 本案ハ政府提出、帝都復興計畫法案外二件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕 贊成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第十、火災保險官營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者加藤定吉君

第一〇 火災保險官營ニ關スル建議案
(加藤定吉君外一名提出)

火災保險官營ニ關スル建議案
火災保險官營ニ關スル建議案
保險契約者ニ對シ今回ノ震災ニ基キタル火災損害ノ賠償ヲ出來得ル限リ多額ニ支拂フコトハ帝都復興ノ根本義ニシテ而シテ我カ國ノ如キ地震地帯ニ位スル國ニ在リテハ震災ニ對スル保險法ヲ制定スルコトハ國民生活ノ安固ヲ得セシムル上ニ於テ必要トス此ノ兩者ヲ併セ行ヒ而モ被保險者ノ負擔ヲ著シク増加セサルノ途ハ火災保險ヲ官營ト爲スニ在リ政府ハ宜シク其ノ方法ヲ講スヘシ 右建議ス

〔加藤定吉君登壇〕

○加藤定吉君 諸君、去ル九月一日ノ震災、之ニ伴ヒマシタ所ノ火災ノ被害ハ、實ニ振古未會有ノ出來事ト申スベキデアリマシテ、此爲ニ我が帝都ノ商業區域、及工業區域ノ殆ト全部ガ灰燼ニ歸シタノデアリマス、是等罹災者ノ大半ハ皆相當ナ資産ヲ有シテ居リマシテ、萬一ノ場合ヲ慮ツテ火災保險ヲ之ニ附シテ、サウシテ此財產ヲ擁護ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ不幸ニモ今回ノ火災ハ、其原因ガ地震ニ發シテ居ルト云フコトノ爲

ニ、賠償ノ請求ヲスルコトガ出來ナイ、若シ此賠償ガナイ時ニハ、罹災者ノ困難ト云フモノハ無論言フ許リモナイノデアリマシテ、其爲ニ之ニ關係シテ居ル銀行若クハ一般ノ事業界、經濟界ニモ非常ナ惡影響ヲ來スノデアリマス、是等被保險者、詰リ保險ヲ掛ケテ居ル所ノ罹災者ハ、實際ニ東京ノ經濟界ノ中心勢力デアリマス、是等ノ人が復興ノ原動力ニナルノデアリマス、是等ノ人が復興ノ被保險者ガ事實倒レルト云フコトデアリマス、若シ是等ノ云フト復興ト云フコトモ隨テ覺東ナイノデアリマス、ソレ故ニ保險金問題ト云フモノハ朝野ノ今日大問題トナツテ居ルノデアリマシテ、政府モ漫然ト之ヲ看過スルコトハ出來マセヌ、保險會社モ亦一概ニ其約款ヲ楯ニ取リマシテ、之ヲ冷淡ニ看過スルコトハ出來ナイノデアリマシテ、茲ニ此火災保險問題ト云フモノガ朝野ノ大問題トナツタノデアリマス、此問題ノ解決ハ之ヲ如何ニスルカト申シマスレバ、何レニシテモ賠償スベキ資金——資源ヲ得ルト云フコトガ必要デアリマス、併ナガラ此資源ヲ如何ニスルカト申シマス、無論保險會社ニハ之ヲ支拂フベキ能力ハ無イノデアリマシテ、會社ノ資産狀態ト云フモノハ、到底假ニ之ヲ拂フトシマシテモ、拂フベキ所ノ力ガナイノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ政府案トシマス云フト、政府ガ是等ノ保險會社ニ貸金ヲシテ、保險會社ニ相當ナ便宜ヲ與ヘテ、サウシテ此被保險者ニ相當ナ救助ヲサセヤウト云フコトガ今回ノ政府案デアリマス、然ルニ此政府案ヲ見マス云フト、政府案ハ總テニ於テ缺點ニ充テテ居ル、第一見舞金ヲ一割ト云フコトデアリマス、是非非常ニ少額ニ失シテ居ツテ、今日一割位ノ見舞金デアレバ——見舞金ヲ以テシマシテハ、到底是ガ帝都復興ノ要素トナルト云フ譯ニハ參リマセヌ、ソレカラ又會社ニ對シテ其一割、約一億八千萬圓

ノ貸金ヲスルト云フコトデアリマス、ケレドモ、假ニ之ヲ政府ガ貸ストシマシテモ、此回收ト云フコトハ非常ニムズカシイ、各保險會社ガ此貸金ニ對シテ連帶責任ヲ負フト云フコトデアレバ、無論回收ガ出來ルノデアリマセウケレドモ、併シ各保險會社ハ連帶ノ責任ヲ負ハナイ、個別ニ各保險會社ガ責任ヲ負フト云フコトデアリマス、其中ニハ非常ニ不確實ナ會社ガ多イノデアリマス、保險會社ノ資産狀態ヲ見マス、漸上保險ヲ兼營スル會社ハ、割合ニ其狀態ガ確實デアリマス、ケレドモ、單ニ火災保險ノミヲ營業トシテ居ル會社ハ、非常ニ其資産狀態ガ薄弱デアリマス、今回一億八千萬圓ヲ借りルト云フコトニシマス、殆ド總テノ保險會社ガ、數百萬圓ノ負債ヲ殘スト云フコトニナルノデアリマス、ソレ故ニ是等ノ會社ニ金ヲ貸シテ、サウシテ此保險會社カラ其貸シ金ヲ回收スルト云フコトハ、殆ド絶望デアアル、殊ニ更ニ吾々ガ其感ヲ深クスルノハ、將來ノ保險會社ハ、斯ノ如キ多大ノ負債ヲ背負ウテ居ルノデスカラ、ドウシテモ其基礎ト云フモノガ非常ニ薄弱ニナツテ居ル、其薄弱ニナツテ居ル會社ニ保險ヲ附ケルモノハ、少イ、ドウシテモ基礎ノ確實ナモノ、方ヘ保險ヲ餘計附ケルヤウニナル筈デアリマス、サウスルト優勝劣敗ノ道理ガ最も現實ニ深刻ニ現ハレ來ツテ、ドウシテモ基礎ノ薄弱ナ會社ハ直ニ劣敗者ノ位置ニ立チ、是等ハ保險ノ依頼者ガ無イ爲ニ、特別ニ餘計ナ運動費ヲ使ヒ、營業費ヲ使ツテ、サウシテ保險ヲ募集スルコトニナル、ソレ等ノ費用ガ多クテレバ、隨テ營業費ガ餘計掛カツテ、サウシテ資産狀態ハ現在既ニ危イ上ニ、更ニ危クスルコトニナルリマス、ドウシテモ是等ノ基礎ノ薄弱ナ會社ト云フモノハ、倒産ヲ速ニスルト云フ結果ニ、ドウシテモナラナケレバナラスト思ヒマス、政府ハ

又此間ニ、共同辨濟ト云フヤウナ方法ヲ今日考ヘテ居ルヤウデアリマス、此共同辨濟ト云フコトモ、各會社ニ連帶責任ヲ負ハセルト云フコトデアリ、各會社カラ、矢張責任ハ個々別々ニ負フト云フコトニナツテ居ルノデ、假ニ共同辨濟ト云フ方法ヲ用ヒマシテモ、此回收ノ不確實ト云フコトハ免レヌト思フノデアリマス、殊ニ現在ノ如ク民營デ、今回ノ政府案ノ如キモノヲ假ニ實行サレルモノトシマス、被保險者ト云フモノハ、非常ニ不確實ナ保險ヲ附ケナケレバナラヌ、此厄介千萬ノ狀態ニ晒サレテ居ル同時ニ、保險率ト云フモノハ、各會社ノ營業費ガ高マツテ來ルニ從ツテ、殊ニ今度ノ震災ニ對シマシテハ、一倍ノ不安ヲ感ズルト云フコトノ爲ニ、保險率ヲ非常ニ今日高クシテ居ル、是ハ今日ノ「バラツク」ニ對シテ言フノデアリマセヌ、「バラツク」ノ保險率ノ高イハ尤デアリマス、ケレドモ「バラツク」ヲ除キマシテ、在來ノ燒ケ殘ツタ家ニ對シテモ、現在既ニ三割、五割ト云フ保險率ガ高クナツテ居ル、此保險率ト云フモノハ、一體ドノ位ノ被保險者ニ對シテ割合ニナツテ居ルカト申シマス、從來今回ノ火災ノナイ場合ト致シマシテモ、假ニ大正十年ノ統計ニ依ツテ見マス、保險料ガ五千二百萬圓拂ハレテ居ル、詰リ會社ノ側カラ言ヘバ受入デアリマス、五千二百萬圓會社ヘ保險料ヲ納メテ居ツテ、サウシテ事實保險金ノ支拂ハレテ居ルモノハ、一千八百萬圓シカナイノデアリマス、サウシテ營業費ニハ二千七百萬圓使ツテ居ル、ソレ故ニ從來トシマシテモ、被保險者ガ事實火災ノ爲ニ拂ハレテ居ル金ト云フモノハ、保險料ノ三割五分ニシカ當ラナイ、此位民營トシテノ保險ト云フモノハ、割ノ惡イモノデアリマス、此以上ニ、今日ハ三割、五割、保險料ハ暴騰シタノデアリマスカラ、今日ノ保險料ト云フモノハ、恐ラク實際

ニ保險ノ爲ニ支拂ハレテ居ル金高ハ、總テノ保險料ノ三割以內ニナツテ居ルと思フ、斯様ナ風ニ非常ニ不利益ナ狀態ニ置カレテ居ル、又今日ノ狀態ヲ此儘ニシテ置キマスルト、震災ト云フモノニ對シテハ何等ノ保障ガナイ、是ハ實ニ我國ノ如キ震災地帯ニ在リマシテ、震災ニ對スル保險ノ途ガナイト云フコトハ、非常ナ缺陷デアリマシテ、何レニシテモ此問題ハ、責任者トシテハドウシテモ研究シナケレバナラヌ問題ト思フノデアリマス、是等ノ缺陷ヲ如何ニシテ補ハシマスルト、私ハドウシテモ、是ハ官營ニスルヨリ外ハナイと思フノデアリマス、然ラバ之ヲ官營ニシマシテ、官營ノ場合ニドウ云フ風ニナルカト申シマスルト、私ノ私案ヲ申シマスルト、現在ノ保險會社ヲ買収シ、收スルノデアリマス、内外共ニ保險會社ヲ買収シ、其事務ヲ買収スルノデアリマスルガ、之ニ要スル金高ハ約二億圓ト推定シテ居リマス、或ハ是ハ幾ラカ増加スルカモ知レマセシ先ヅ此位ガ相當ダト思フノデアリマス、此買収ト云フコトハ、今日ハ保險會社モ無論承諾スルコト、思フ、容易ニ承諾スルコト、思フノデアリマス、何故ナラバ、保險會社モ今日ハ隨分窮境ニ立ツテ居ル、一二ノ保險會社ヲ除キマスルト、實際買収サル、コトヲ希望シテ居ルト云フ狀態デアリマスルカラ、買収ナルトシマスルト、今日ハ最も好イ時機ト思フノデアリマス、サウシテ此官營ニ依リマシテ、官營ノ第一ノ必要トスル要素ハ、營業費ノ節約デアリマス、大正十年ノ統計ニ依ツテ見ルト、先刻申ス通り營業費ニ二千七百萬圓使ツテ居ル、此營業費ト云フモノガ、之ヲ官營ニシマスルト、ドノ位デ上ガルカト申シマスルト、是ハ今日火災保險ニ對シテ、官營ト民營トノ比較ト云フ材料ガアリマセヌカラ、精シイコトハ申サレナイケレドモ、假ニ生命保險ノ例ニ依ツテ見ルト、官營生

命保險ハ其件數ガ二百二十万件デアリマシテ、費用ガ二百六十萬圓シカ使ツテ居ラナイ、民營ハ三百十八萬件デアリマシテ、其費用ハ三千六百萬圓使ツテ居ル、サウシマスルト此割合ハ、民營ノ方ガ殆ド官營ノ八倍若クハ九倍ノ費用ヲ使ツテ居ルノデアリマス、火災保險ノ今日ノ件數ハドノ位アルカト云フト三百七十万件アル、若シ此件數カラ割合ヲ致シマスルト、生命保險ヲ官營トシマシタ所デ、四五百萬圓デ優ニ經費ハ上ガルコト、思ヒマスケレドモ、是ハ前申ス通り生命ト火災トノ事デアリマスカラ、十分ノ比較ハ出來マセヌ、出來マセヌガ唯、之ヲ常識的ニ推定シマシテモ、二千七百萬圓カラ千五百萬圓ノ費用ヲ節約スルコトハ、是ハ私ハ容易ノ事デアルト思ヒマス、サウシマスルト營業費カラ假ニ千五百萬圓ヲ此處デ節約スルコトガ出來ル、ソレカラ第二ノ官營トシマシテ保險料ヲ私ノ考デハ二割上ゲルト、將來ノ保險料ハ大抵千分ノ五、五若クハ六デアリマスガ、之ヲ二割増シシマシテ千分ノ七、〇二位ノ程度ニシテ置キタイ、サウシマスルト是ハ大正十年ノ矢張統計ニ依リマシテ、大正十年ノ内外保險料ガ約八千萬圓デアリマスカラ、此二割ヲ増ストシマスルト云フト、此處デ千六百萬圓ト云フモノガ從來ヨリモ増加サレテ來ルノデアリマス、此千六百萬圓ト云フモノハ、徒ニ之ヲ二割ヲ増加スルノデナクシテ、結局是ハ將來ノ震災保險ニ對スル一ツノ基礎ヲ之ニ依ツテ得タイト思フノデアリマス、サウシマシテ官營後ニソレデハドウ云フ計算ニナルカト云フト、前ノ營業費ノ節約ト二割ノ保險率ノ値上ゲト云フトコトヲ、之ヲ合計シマスルト三千万圓餘ノ利益ガ茲ニ上ガルノデアリマス、三千万圓ノ金ガ此處ニアリマスルト云フト、之ヲ五朱ノ利ニシマシテ六億ノ公債ヲ發行スルコトガ出來ル、此六億ノ公債ヲ以テシマスルト、

現在ノ火災ノ損害高十四億九千万圓ニ對シマスルト、略、四割ノ見當ニナルノデアリマシテ、此四割ヲ拂戻スト云フコトニナルノデアリマス、然ラバ此元金ノ償却ハドウシマスルカト云フト、是ハ將來ノ保險額ノ増加ト云フモノハ餘程非常ナ速度ヲ以テ進ンデ來ルモノト思ハレル、從來ノ例ニ依ツテ見マスルト、明治四十四年ニハ保險額ト云フモノガ總テ十二億七千万圓デアツタ、ソレガ火災五年ニハ二十八億七千万圓ニナリ、大正八年ニハ八十一億圓ニナリ、現在ニハ百三十億ニナツテ居ルノデアリマス、十五年間ニ約十倍ニナツテ居ル、是ハ最近五年ノ統計ニ據リマシテモ此最近ノ五年ハ最も不景氣ノ時デアリマスケレドモ、其際デアリマシテモ六割ノ餘増加シテ居ル、ソレ故ニ若シ之ヲ十年間ニ一倍ヅ、保險額ガ増シテ居ルトシマスルト云フト、是ハ細カイ計算ハ申シマセヌガ、兎ニ角十年間ニ一倍ヅ、保險額ト云フモノガ増シテ居ルトシマスルト、最初ノ五年ノ間ハ据置トシマシテ、十五年目ニ一倍増シ、二十五年後ニ二倍増シテ、殆ド二十五年ノ時ニハ六、七億ノ茲ニ積立ガ出來ルノデアリマス、若シ之ヲ五十年後ニシマスルト三十五億ノ積立金ガ出來ル譯ニナルノデアリマス、之ヲ若シ十年間一倍ト云フコトヲ假ニ十年間五割ニシテ之ヲ極端ニ内輪ニ見マシテ十年間ニ五割ヅツ増ストシマシタ所デ、三十五年ノ後ニハ七億圓ニナル、五十年後ニハ十七億圓ニナルノデアリマス、以上ノ如キ計算ニ依リマス、震災若クハ之ニ因ル火災、是ガ三十五年毎ニアリマスルト、矢張七億圓ノ積立ガアリマスカラ今回ノ程度ノ償却ガ出來ル、詰リ三四割ノ賠償ガ出來ルノデアリマス、若シ是ガ五十年後ニナレバ——五十年ニ一回位ヅツアルコトニナリマス、十七億若クハ二十億ノ積立金ガ其時ニハ出來ル、サウシマスト震災ノ總テニ對シテ完全ナ補償ヲスルコト

ハ餘程ムヅカシイコト、思ヒマスガ、併シ或ル程度迄ノ補償ハ此官營ニ依ツテ出來ルコト、思フノデアリマス、又震災保險ト云フコトハ、何レニシテモ全部ノ保險ト云フコトハ、是ハ到底私ハムヅカシイコト、思フノデアリマス、矢張三割、四割、若クハ半額程度ノ賠償ト云フコトハ結局震災ハ満足シナケレバナラヌモノト思ヒマス、ソレカラ又官營保險ハ之ヲ特別會計トシテ置キマスレバ、收支ガ以上ノ如クデアリマスルカラシテ、一般ノ國民ニ何等ノ禍ヲ及ボサナイ、世間デハ能ク一部ノ階級ノ者ヲ國費ヲ以テ補助スルコト云フコトハ間違ッテ居ルト云フ非難ガアリマスルケレドモ、此官營ニ依リマス其非難ヲ免カル、コトガ出來ル、又此本案ニ對シマシテ最モ道理アル非難ト思ハレルノハ、斯様ニ官營ニシマスルコト云フコト、將來ノ被保險者ニ過去ノ損害ヲ負擔セシムルコト云フコトハ不道理デハナイカ、是ハ最モ道理アル反對ト思フノデアリマスルケレドモ、是ハ私ノ考デハ先ヅ其位ノ事ハ實際已ムヲ得ナイ、如何ナル場合デモ救済ト云フコトハ皆斯ノ如キ方法ニ依ツテ從來トモヤツテ居ルノデアリマシテ、政府案ニシマシタ所デ、茲ニ一億八千萬圓ノ金ヲ借りタ會社ハ、矢張將來ノ被保險者カラ保險率ノ値上ニ依ツテ之ヲ償フコト云フコトニドウシテモシナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、此非難ハ道理トシテハ無論道理ガアルノデアリマスルケレドモ、實狀已ムヲ得ナイモノト是ハ思フヨリ外ニ仕方ガナイト私ハ考ヘルノデアリマス、大體以上ノ如クデアリマスカラシテ、之ヲ要スルニ民營ニ拋棄シテ置ク、詰リ今回ノ政府案ト云フモノト、私ノ官營案ト比較シテ見マス、政府案ハ救済ノ制デアルガ、此官營ニ依レバ四割ヲ救済スルコトガ出來ル、民營ニシテ抛ツテ置クバ保險料ガ三割若クハ五割ニ騰貴ナスルノデアル、サウシテ而モ被保險者ト云フモ

ノハ非常ナ不安ナ狀態ニ置カレルノゾアルガ、官營ニスレバ二割ノ保險料ノ騰貴デアツテ、サウシテ保險ガ確實デ、サウシテ震災ノ一部分ノ賠償ヲ受ケルコトガ出來ル、政府案ニ依レバ一億八千万圓ノ金モ、約五十年ヲ通ジテ之ヲ回收シ努メテ、尙且ツ其回收ガ覺束ナイノデアリマスルケレドモ、官營ニスレバ三十五年ノ間ニハ少クモ七億、五十年後ニハ一二十億ノ積立金ガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、之ヲ如何ナル點カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ私ハ此際保險ハ官營ニスルト云フコトヲ最モ必要ト考ヘルノデアリマス、實際今回、此保險金ノ支拂ト云フモノハ事實ニ於テ帝都復興ノ經濟ノ要素トナルモノデアリマスカラシテ、ドウカ諸君、此點ニ十分御留意下サツテ、本案ニ賛成アラシト切ニ希望シマス

○高見之通君 本案ハ政府提出、保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ガナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ政府提出、帝都復興計畫法案政府提出、復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フベキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案、政府提出、震災善後公債法案、此三案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ且ツ其審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍

テ動議ノ如ク決シマシタ、即チ茲ニ帝都復興計畫法案外二案ヲ一括シテ、第一議會ノ續ヲ開キマス、委員長高橋光成君

帝都復興計畫法案(政府提出)
第一議會ノ續(委員長報告)

報告書

一帝都復興計畫法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ表題ヲ「特別都市計畫法」ニ改メ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十日
帝都復興計畫法案委員長 高橋 光成

衆議院議長粕谷義三殿

〔別紙〕
帝都復興計畫法案中左ノ通修正ス
第一條中及第二條中「復興計畫」ヲ「特別都市計畫」ニ改ム第三條中「行政廳又ハ公共團體カ施行スル」及「前項ノ」ヲ削ル
第三條ノ次ニ左ノ如ク加フ
第四條 土地區劃整理ヲ施行スル爲メ土地區劃整理組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テ土地所有者同意ヲ爲スニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ借地法ニ謂フ借地權者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
前項ノ借地權者ハ登記ナキモ耕地整理法第二條ノ二ノ規定ニ依リ前項ノ組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得
第四條ヲ第五條トシ同條中「前條第一項ノ」ヲ「行政廳又ハ公共團體カ」ニ「第七條」ヲ「第八條」ニ改ム
第五條ヲ第六條トシ同條中「第三條第一項」ヲ「前條」ニ改ム
第六條ヲ第七條トシ同條中「第三條第一項」ヲ

「第五條」ニ改ム
第七條ヲ第八條トシ同條中「第三條第一項」ヲ
「第五條」ニ「第五條」ヲ「第六條」ニ改ム
第八條ヲ第九條トシ同條中「第三條第一項」ヲ
「第五條」ニ改ム
第九條中「内閣總理大臣」ヲ「主務大臣」ニ改ム
第九條ヲ第十條、第十條ヲ第十一條トス

復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ
國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律
案（政府提出）第一議會ノ續（委員長報告）

報告書

一復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債
證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案（政府
提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此後
及報告候也
大正十二年十二月二十日

復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ
金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等
ニ關スル法律案委員長 高橋 光威
衆議院議長粕谷義三殿

震災善後公債法案（政府提出）第一議會
ノ續（委員長報告）

報告書

一震災善後公債法案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決
致候此後及報告候也
大正十二年十二月二十日

震災善後公債法案委員長

高橋 光威

衆議院議長粕谷義三殿

別紙

震災善後公債法案中左ノ通修正ス
第一條中五億九千八百萬圓ヲ「四億六千八百
五十萬圓」ニ改ム

〔高橋光威君登壇〕

○高橋光威君 御付託ニナリマシタ帝都復興計畫
法案外二件ニ付キマシテ、審査ノ概要並ニ委員會
ノ修正ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、帝都復興計畫
法ハ、現行ノ都市計畫法ニ對スル特別ノ規定デア
リマシテ、東京横濱等ノ焼失區域ニ特ニ施行致ス
所ノ法案デアリマス、而シテ特ニ此法律ヲ要スル
所以ハ何處ニ在リマスカト申シマスルニ、東京横
濱ノ如キ今回ノ震災地、之ニ都市計畫ヲ執行スル
ニハ、敏速ニ此計畫ヲ實行完成スル必要ガアリノ
ミナラス、國ニ於テ金ヲ出シテ施行スルノデアリ
マスカラ、現行ノ都市計畫法ノミデハ不十分ナ所
ガ多クアルノデアリマス、因テ特ニ此提出セラレ
マシタ所ノ帝都復興計畫法ナルモノヲ要スル次第
デアルト云フコトデアリマス、委員會ニ於キマシ
テハ慎重審議、政府委員ニ向ツテ十分ナル質疑應
答モアリマシタ譯デアリマスガ、其精シイコト
ハ委員會ノ速記ニ譲リマシテ、管、シク茲ニ御報
告申上ゲルノ煩ヲ省キタイト存ジマス、然ルニ本
案ハ昨日御決定ニナリマシタ豫算ニモ大ナル關係
ヲ有スル法案デアリマシテ、既ニ帝都復興院ト云
フモノハ豫算ガ割ラレタノデアリマスガ故ニ、内
容ニモ多少ノ變更ヲ加フルノ必要ガアルノデアリ
マス、ソレカラシテ本案ハ餘リ、國家ノ機關ヲ直
接應用スルノ條文ガ多イノデアリマス、元來特別
法デアリマスカラ、成ベク此都市計畫法ト云フモ
ノヲ利用スルヤウニ致シタ方宜シイ、隨テ此趣
旨ニ基イテ修正ヲ加フルノ必要ガアルト云フヤウ
ナコトニ關シテ、質疑應答ガ連日ニ涉リマシテア
ツタノデアリマス、茲ニ甚ダ遺憾ト致シマスノハ
修正案ヲ印刷ノ上皆様ノ御手許ニ差上ゲテ置クノ
ヲ甚ダ便宜ト致スノデアリマスケレドモ、印刷ガ
間ニ合ハヌサウデアリマス、説明ニモ不便デアリ
マスガ、皆様ノ爲ニハ最モ御不便デアルト存ジ

マシテ、是ハ恐縮ノ至リデスガ何分時間ガ開ニ合
ハヌノデアリマスカラ、私修正ニ付テノ條文ヲ讀
上ゲタイト思ヒマス、質疑應答ニ關スル細カナ事
ハ此場合詳細ニ申上ゲルコトヲ省クヲ御許シテ願
ヒタイト思ヒマス、修正ノ結果ニ付キマシテ直チ
ニ申上ゲタイト存ジマス、先ヅ此法律案ノ名ノ帝
都復興法ト云フ表題ヲ特別都市計畫法ト云フノニ
改メマシタ、是ハ委員長ノ報告ト致シマシテ茲ニ
申上ゲマスノハ、修正案デアリマス、修正案ノ第
一ニ申上ゲルノハ即チ表題デアリマス、帝都復興
計畫法案ト云フ政府提出ノ此表題ヲ、特別都市計
畫法ト云フノニ改メタイト云フ修正ノ意見デアリ
マス、其次ニハ第一條及第二條中ニ「復興計畫」ト
云フノガアリマス、之ヲ「特別都市計畫」ト
改メルト云フ修正デアリマス、ソレカラ第三條
中「行政廳又ハ公共團體ガ施行スル」ト云フ文
字ガアリマス、之ヲ削ルト云フ修正デアリマス、
此修正ニ付テ御說明申上ゲテ置キタイト思フノデ
アリマスルガ、第三條ニ原案ニハ「行政廳又ハ公
共團體カ施行スル」ト云フ文字ガアリマス、サウ
シテ土地所有者又ハ地主組合ト云フモノヲ除外シ
テ居ルノデアリマス、都市計畫法ニ於キマシテ
ハ、地主組合ヲ勿論此場合主トシテ居ルノデアリ
マスルガ、是ハ特別規定デアリマシテ、之ヲ省イ
タノデアリマス、修正トシマシテハ此文字ヲ除
ク、即チ「行政廳又ハ公共團體カ施行スル」ト云フ
文字ヲ削リマスルト云フト、一般都市計畫法ニ依
リマシテ土地所有者並ニ地主組合モ此中ニ加ハル
ノデアリマス、成ベク一般都市計畫法ト云フモノ
ニ準據スルコトノ出來ルヤウニ、之ヲ削ツタノデ
アリマス、ソレカラ同條第二項ニ「前項」ト云フ
三字ガアリマスガ是ハ必要ナイガ故ニ、之モ削リ
マシタ、ソレカラ第三條ノ次ニ左ノ如ク加ヘルノ
デアリマス、第四條トシテ「土地區劃整理ヲ

施行スル爲土地區劃整理組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テ土地所有者同意ヲ爲スニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ借地法ニ謂フ借地權者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス、別項致シマシテ、「前項ノ借地權者ハ登記ナキモ耕地整理法第二條ノ規定ニ依リ前項ノ組合ノ組合員トナルコトヲ得」是ダケヲ第四條トシテ此處ヘスルノデアリマス、此大體ノ意味ハ、都市計畫法ハ制定當時、借地法ト云フ法律ノ發布ノ無イ時デアリマス、故ニ借地權者ト云フモノヲ見テ居ラヌノデアリマス、然ルニ借地法發布ノ今日ニ於キマシテハ、借地權者ノ同意ト云フモノガ必要ニナツテ居リマス、仍テ茲ニ土地所有者ノ同意ヲ爲スニ付テハ、勅令ノ定ムル所ニ依ツテ、借地法ニ謂フ借地權者ノ同意ヲ得ルノ必要アリト云フ意味ヲ、第四條ニ規定シタ譯デアリマス、ソレカラ後ノ修正ハ相當數多クアリマスレドモ、多クハ條文ノ整理ニ過ギナイノデアリマス、即チ其次ノ修正ハ、第四條ヲ第五條トシ、同條中ニ「前條第一項ノ」ト云フ六文字ガアリマスガ、此「前條第一項ノ」ト云フノヲ「行政廳又ハ公共團體カ」ト云フ文字ニ修正スルノデアリマス、其次ニ、第七條ヲ第八條ニ改メ、ソレカラ其次ニハ、第五條ヲ第六條ト致スノデアリマス、同條中ニ「第三條第一項」ト云フ六文字ガアリマスガ、之ヲ「前條」ト云フ二字ニ改メ、第七條ト致スノデアリマス、其同條中ニ「第三條第一項」ト云フ文字ガアリマスガ、之ヲ「第五條」ト云フノニ改メ、第六條ヲ第七條ト致スノデアリマス、又「第五條」ト云フ文字ニ改メ、第七條ヲ第八條ト致シマシテ、同條中ニ「第三條第一項」ト云フ文字ヲ「第五條」ト云フ文字ニ改メ、第六條ト致シ、又「第五條」ト云フノヲ「第六條」ト云フノニ改メ、要スルニ條文ノ整理ニ外ナラ

ヌノデアリマス、ソレカラ第八條ヲ第九條ト致シ、同條中「第三條第一項」ト云フノヲ「第五條」ニ改メ、ソレカラ其次ノ修正ハ、第九條デアリマスガ、第九條ノ中ニ「内閣總理大臣」ト云フコトガアリマス、之ヲ「主務大臣」ト改メ、第十條デアリマス、是ハ帝都復興院ノ豫算ガ削減サレマシタガ故ニ、政府ハ内閣直屬ノ帝都復興院ヲ恐ラクハ内務所管ニ移シマシテ、何カ特別ノ一局ヲ設クルト云フコトデアリマスカラ、内閣總理大臣ト云フコトハ必要ナクナツタノデ、之ヲ主務大臣ト云フコトニ改メ、第十條デアリマス、ソレカラ第九條ヲ第十條ニ、第十條ヲ第十一條ニスル、以上ガ此帝都復興計畫法ニ對スル修正デアリマシテ、是ハ小橋一太君ヨリ提出セラレマシタ所ノ修正デアリマス、之ニ對シマシテ反對ガアリマシタ、其反對ノ理由ハ矢張原案ガ宜シイ、此大ナル燒失區域ニ帝都ヲ復興スルニ當リマシテ、成ベク國家ノ機關ヲ以テ、十分ニ迅速ニ、完全ニ此都市計畫ヲ致スノニ付キマシテハ、政府提出ノ原案ノ如キ機關ヲ要スルノデアツテ、隨テ此法案ニ含ム所ノ内容、此内容ニ依ルニ非ザレバ目的ヲ達スルコトガ出來ヌ、故ニ修正案ハ反對デアルト云フ議論ガアリマシタガ、採決ノ結果、大多數デ修正案ガ可決致サレマシタ譯デアリマス、以上ハ帝都復興計畫法案ニ對シマシタル委員會ノ經過並ニ結果デアリマス、次ニ御付託ニナリマシタ所ノ震災善後公債デアリマス、是ハ豫算ニ於テ昨日御削減ニナリマシタ一億二千九百三十万八千二百圓ト云フ斯様ナル大修正ガアツタノデアリマス、政府提出ノ此公債法ハ、五億九千八百萬圓ト云フノデアリマスガ、此豫算ノ削減ノ結果、四億六千八百四十三万八千八百四十九圓デ足ルコトニナツタノデアリマス、仍テ原案ノ五億九千八百萬圓ト云フノヲ四億六千八百五十萬圓ト修正致シタノデアリマス、是

モ委員會ノ質問應答ニ付キマシテハ、御報告ノ煩ヲ省キマシテ速記デ御覽ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此修正ニ對シマシテハ唯、一ツ反對ガアリマシタ、簡單ナ反對ガアリマシタ、是ハ豫算ニ反對シタガ故ニ同様ノ意味ヲ以テ之ニ反對スルト云フ一ツノ反對論ガアリマシタ、併シ大多數此修正案ニ贊成デアリマシテ、此案ガ委員會デ可決ニナリマシタ、次ニ今一ツハ復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フベキ金額ヲ、國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案ト云フ法律案デアリマスガ、是ハ法案ノ名前ヲ以テ示シテ居ル如ク、復興事業即チ此特別都市計畫事業ノ施行ニ伴ツテ支拂フベキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スルト云フ案デアリマシテ、内容モ之ニ異ナラヌ、即チ五分利附國債證券ヲ以テ、土地所有者ノ利害關係人ニ交付スルト云フノデアリマシテ、尙ホ前條ノ規定ニ依ツテ交付スル爲メ、必要ナル額ヲ限度ト致シテ、此借入金モ爲スコトガ出來ルノデアリマシテ、之ニ付テハ質問應答數多クアリマシタ、其中ノ必要ナリト認メマスル事ヲ一寸申上ゲテ置キタイノデアリマス、是ハ燒跡ノ土地所有者ハ一万四千餘人アルサウデアリマス、借地權者ガ十五萬人アルサウデアリマス、ソレデ是等ガ道路又ハ公園ノ敷地トナルト云フヤウナ場合ニ、其補償トシテ渡スベキ金ハ公債ヲ以テ拂フ、其公債ハ時價デ渡スト云フノデアリマス、借家人ニハドウスルカ、是モ亦相當補償ヲスルサウデアリマス、デ「バラツク」、此「バラツク」ニモ相當ノ補償ヲスルト云フノデアリマシテ、成ベク此公債ヲ以テ支拂フ、併シ現金モ入用テアルカラ、平均シテ一人七千圓位ニ當リマスガ、其半分位ハ現金デ渡ス、併シ公債ヲ市場ニ募ルト云フノハ中ニ困難デアルカラシテ、此場合公債ヲ以テ成ベク渡シタイト云フ政府ノ趣旨デアリマシテ、此案ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテハ、何

等ノ修正ハアリマセヌ、全會一致デハ可決ニナ

リマシタ、併シ希望ガ一ツアル、其希望ハ成ルベ

ク公債ヲ以テ支拂ツテ貰ヒタイト云フ希望デアリ

マシテ、是ハ高木君カラノ希望デアリマシタガ、

滿場之ニ賛成シタ譯デハナイ、單ニ高木委員ノ希

望デアリマシタ、本案ニ付テハ何等ノ修正モナシ、

滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタ次第デアリマ

ス、以上三案ニ付テノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御

報道申上ゲル譯デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 先ヅ帝都復興計畫法案ノ第

二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、本案ノ第

二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍

テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○高見之通君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコ

トヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナ

シト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部

ヲ議題ト致シマス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シマシテハ、修正

ニ關シテ賛否ノ通告ガアリマス、此發言ヲ許シマ

ス、作間耕逸君

○議長(粕谷義三君) 作間君一寸御注意致シマス

ガ、只今ハ帝都復興計畫法案ダケデアリマス

○作間耕逸君(續) サウデス——サウスルト帝都

復興計畫案、此一案ニ付テ委員長ノ修正ノ御報告

ニ反對ナシテ、原案ノ維持ヲ主張スル者デアリマ

ス(豫算ハ潰レタデヤナイカ)ト呼フ者アリ豫算

ハ潰レマシテモ是ハ計畫法案デアリマシテ、原案

ハ矢張維持セラレ得ルデアリマス、委員長ノ報

告ニ依リマスと云フト、修正案ノ綱要ハ大體四ツ

ニ分レテ居リマシテ、其一ハ法案ノ名稱ガ帝都復

興計畫法トシテハ餘リニ大キニ過ギテ名稱相備ハ

ラナイ、第二ハ幅員十二間以下ノ道路ニ關係アル

土地ノ區劃整理ニ付テハ、地主又ハ借地人ヲ交ヘ

タル土地整理組合ヲ設立セシメテ其整理ニ當ラシ

ムル、第三ハ補償審査會ハ復興院廢止ノコトヲ豫

算委員會ニ於テ可決サレタ結果、其主管ヲ内閣ヨ

リ内務省ニ移シテ、サウシテ内務省ニ之ヲ置クト

云フ御趣意ニ基キマシテ、只今御報告ノ如キ修正

ノ條項ガ出來上ツタデアリマスルガ、其第一ノ

法案ノ名稱ガ、案ノ内容ハ主トシテ土地ノ區劃整

理ニ過ギナイノニ拘ラズ、仰、シクモ帝都復興計畫

法トナツテ居ルノガ、餘リニ實ノ小ナルニ似ズ名

ガ大ニ過ギルデアルト云フコトノ御意見ニ付キ

マシテハ吾々ハ是ハ單ニ法律ノ名題ダケノ問題デ

アツテ、謂ハ、形ノ議論デアアル、成程委員長御報告

ノ如キ感ジガ致サナイデモアリマセヌケレドモ、

此場合法律ノ名稱マデラモ彼此爭ツテ居ル餘裕

ハナイノデアリマス、唯、十、間以下ノ道路ニ係

ル土地ノ區劃整理ヲ、地主若クハ借家人ヲ加ヘタ

ル組合ヲシテ爲サシムルト云フコトハ、是ハ最モ

今日ノ燒跡ヲ處理スル方法ト致シマシテハ、實際

ノ事情ニ適セズ、御承知ノ通り幾ラ燒跡デアルト

致シマシテモ、土地ノ所有權ハ勿論ノコト、ソレ

ニハ永年設定セラレテ居リマスル地上權モアレ

バ、又二十年或ハ三十年ノ間存續サナケレバナ

ラヌ借地權モアリマスルシ、其上ニ尙ホ掘テ、加

ヘテ借家權ニ附隨シテ居ル土地使用ノ關係モ、彼

此レ相錯綜致シテ居ルコトデアリマスノミナラ

ズ、東京ノ土地ハ假令震災ニ依ツテ燒出サレマシ

テモ、尙ホ今日ニ於テ時價一坪ニ付テ三百圓、五

百圓、高キハ千圓モ致ス所モアルノデゴザイマシ

テ、俗ニ所謂土一升而シテ金一升、此土地ニ對シ

テ而モ今日一日モ速ニ、一刻モ速ニ此復興ノ大事

業ヲ遂行シナケレバナラヌ急迫ナル場合ニ於キマ

シテ、之ヲ平時ノ耕地其他地方ニ於ケル空地ノ處

置ニ對スルト同様ノ方法ヲ以テ律シヤウト致シマ

スコトハ、全ク罹災地域ノ實狀並ニ罹災者ノ心理

ヲ解セラレザル計畫デアリマシテ、恐ラクハ是ガ

爲ニ却テ復興事業ノ進捗ヲ阻害スルコト甚シキ

モノデアルト云フコトヲ恐レマスルカラ致シマシ

テ、之ニモ御同意ハ出來ナイノデアリマス、又補

償審査會ヲ内閣カラ内務省ニ復興院ヲ移サレマシ

タ關係上、否、復興院ナルモノヲ廢止サレント致

サレマシタ關係上、矢張其主管ヲ移サル、ト云フ

コトニナツタデアリマスルガ、是モ本員等ト致

シマシテハ、復興院ノ如キ特殊ナル機關ガ存續ヲ

致シテ、此善後策ニ當ラナケレバナラヌ、之ニ當

ラシムルノガ最モ適當デアリ且ツ必要デアルト云

フコトヲ確信致シマスルガ爲ニ、此點モ亦御同意

申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマスカシ、以上

ノ三點ノ根本的ノ見解ト、意見ガ相違致シテ居リ

マスル以上ハ、吾々ハ飽迄此點ニ付キマシテモ、

原案ノ維持ヲ主張シテ、委員長ノ修正ノ點ニ反對

ヲ致スノデアリマス、尙ホ少シク其事情ニ付キマ

シテ、附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノ

ハ、元來文明都市ノ建設又ハ改良ヲ致シマスと云

致シマシテモ、土地ノ所有權ハ勿論ノコト、ソレ

ニハ永年設定セラレテ居リマスル地上權モアレ

バ、又二十年或ハ三十年ノ間存續サナケレバナ

ラヌ借地權モアリマスルシ、其上ニ尙ホ掘テ、加

ヘテ借家權ニ附隨シテ居ル土地使用ノ關係モ、彼

此レ相錯綜致シテ居ルコトデアリマスノミナラ

ズ、東京ノ土地ハ假令震災ニ依ツテ燒出サレマシ

テモ、尙ホ今日ニ於テ時價一坪ニ付テ三百圓、五

百圓、高キハ千圓モ致ス所モアルノデゴザイマシ

テ、俗ニ所謂土一升而シテ金一升、此土地ニ對シ

テ而モ今日一日モ速ニ、一刻モ速ニ此復興ノ大事

業ヲ遂行シナケレバナラヌ急迫ナル場合ニ於キマ

シテ、之ヲ平時ノ耕地其他地方ニ於ケル空地ノ處

置ニ對スルト同様ノ方法ヲ以テ律シヤウト致シマ

フコトハ、其前提の必要手段ヲ致シマシテ、政府
ガ何時デモ特殊ノ立法ヲ爲シ、國家ノ協力又ハ公
共團體ノ勢力ヲ以テ、土地ノ區劃整理ヲ斷行致シ
マスノデアリマス、御承知ノ通り、彼ノ普魯西ノ
各都市ニ於テハ、如何ニ政府ガ徹底のニ之ヲ施行
致シマシタカ、又希臘ノ「サロニカ」市ノ如キデサ
ヘモ、最近ノ第五回ノ大火ノ後ニハ、政府ガ全市
ニ互ツテ敢然タル處置ニ出デマシタルノハ、諸君
ノ御承知ノ通りデアリマス、我國ニ於テモ、前年
新宿、淺草ノ大火ノ後、初メテ之ヲ試ミタノ
デアリマスガ、而モ實際ニ於テ好成績ヲ收メ得タ
ノデアリマス、平時ニ於テスラ既ニ左様デアアル、
況ヤ今回ノ大震災災ハ、東京市ニ於キマシテモ、
燒失區域ガ全面積ノ四割四分、即チ二平方里餘リ
ニ及ビマシテ、横濱市ニ於ケル燒失區域ノ割合ト
云フモノハ、更ニ此以上ニナツテ居ルノデアリマ
ス、此時ニ當ツテ政府ガ本案ノ如キ特殊ノ立法ヲ
爲サント致シタルノハ、寧ロ當然ノ善後策デアルト
謂ハナケレバナリマセヌ、畏クモ本年九月十二日
ノ御詔勅ノ中ニモ、特ニ「東京ハ帝國ノ首都ニシ
テ、民衆一般ノ瞻仰スル所ナリ一朝不慮ノ災害
ニ罹リテ今ヤ其ノ舊形ヲ留メスト雖依然シテ我
國都タルノ地位ヲ失ハス、是ヲ以テ其ノ善後策ハ
獨リ舊態ヲ回復スルニ止マラス進シテ將來ノ發展
ヲ圖リ以テ荏衛ノ面目ヲ新ニセサルヘカラスト
仰セラレテ居ルノデアリマス、此聖旨ヲ奉體致シ
マス政府及國民ト致シマシテハ、矢張本案位ノ計
畫施設ヲ爲スニ非ザレバ、或ハ聖旨ニ悖リ奉ルノ
虞ナキヤト云フコトヲ感ズルノデアリマス、尤モ
東京市民、横濱市民ハ實際本案ヲ以テマダ満足シ
テ居ラナイノデアリマス、蓋シ東京市民ニ言ハセ
マスト云フト、少クモ尙ホ街路、橋梁ニ於テ、三
十八万六千餘坪、運河ニ於テ二十万二千餘坪、公
園ニ於テ百六万五千坪ノ不足ト、必要トテ絶叫致

シテ居ルノデアリマス、其切ナル希望デサヘモ、
今ヤセメテハ此帝都復興法案ノ原案ヲ傷ケザラン
ガ爲ニ、堪ヘ難キヲ堪ヘ、忍ビ難キヲ忍ビ天ニ
仰ギ地ニ俯シテ、只管本案ノ經過ヲ待ツテ居ルノ
デアリマス、昨日既ニ本會議ニ於テ削減セラレマ
シタ豫算案ガ可決セラレタルデアリマスカラ、今日
カラ致シマシテ之ヲ論議致シマスコトハ、誠ニ一
種ノ愚痴トモ御聽取ニナルデアリマセウケレドモ
而モ東京横濱ノ市民ガ、今迄國費ノ大負擔者デア
リ、又地方生産ノ大消費者デアリ、多年平生如何
ニ一般國民ノ爲ニ犠牲ヲ拂ヒ利益ヲ供ツ、來ツタ
カハ、今更本員ガ茲ニ數字ヲ竝ベテ申上ゲマセヌ
デモ、諸君ノ夙ニ能ク諒トセラレル所デアリマシ
テ、其市民ノ六割七割、即チ百三十五万六千許リ
ノ多數ナル罹災者ガ、僅モベシ一朝ニシテ今ヤ寒
風ニ曝サレテ亞鉛板園ヒ「バラック」生活ニ悲
慘ナル狀態ニ陥リマシテ、而モ政府ノ此種ノ復興
計畫ヲ最後ノ望ト致シテ、日夜當々トシテ相倚リ
相援ケテ以テ復興ニ努メツ、アツタノデアリマス
ルノニ、測ラズモ昨日ノ本會議ニ於テ、アノヤウ
ナル大削減ヲ加ヘラレルト云フコトハ、洵ニ私共
市民ノ爲ニ、嚙彼等ガ絶望悲觀ノ淵ニ陥リハシナ
イカト案ジラレルノデアリマス（拍手）サナキダニ
此度ノ政府案ハ精神の方面ハ勿論、經濟的の方面ノ
復興ニ付テモ、何等一般ニ行互ル具體案ト云フモ
ノハ、マダ立テラレテ居マセズ、又火災保險ノ案
モ、未ダ諸君ニ於テ審議ノ最中デアリマシテ、
一割ノ見舞金スラ貰ヘルカ貰ヘヌカ分ラナイト
云フヤウナ有様デアリマスカラ、絶望悲觀
ノ極、折角萌エ出デント致シマスル復興氣分
ヲ、假令幾分ニテモ沮喪致シマスルコトガアリ
マシタナラバ、其惡影響ト云フモノハ、必ズヤ
將來國家ノ財政收入、且ツ又地方ノ產業經濟ニ
モ及ボサンカト存ゼラレルノデアリマス、諸君

ハ東京大震災ノ直接間接ノ影響トシテ、如何ニ
國家ノ財政ト、諸君ガ當ニ御心配ナサル、所ノ地
方ノ產業ヲ萎縮セシメタカト云フコトヲ考慮セラ
レマシタナラバ、帝都ノ復興ト云フモノハ、眞ニ
帝國ノ復興デアリマス、帝國ノ復興ト云フモノ
ハ、即チ眞ニ地方ノ復興デアルト云フコトヲ知ラ
ル、ニ足ルデアラウト思ヒマスル、政友會ノ諸君
ノ企圖セラレマシタル十二間以下六間以上ノ街路
開設修築ニ依リマスル土地區劃ノ整理ヲ市ヲシテ
當ラシメ、地主若クハ借地人組合ヲシテ自治的ニ
爲サシムルト云フコトハ、平時ニ於テハ或ハ進歩
的ト申スコトハ出來ルカモ知レナイ、地方ノ交通
其他ノ空地間地等ニ對スル處置トシテ、或ハ適當
デアルカモ知レナイノデアリマスルガ、唯、空前
ノ大災害ヲ受ケマシタ今日此場合ニ於テ、先刻モ
申上ゲマシタ通り、所謂土一升金一升ノ此大都市
ノ宅地ニ於テ、之ニ對スル場所ト考ヘラレザル妄
斷デアリマシテ（拍手）加フルニ重ネテ申上ゲマス
ルケレドモ、借地權地上權トノ故障ト、又其上之
ニコンガラカツテ參リマスル所ノ借家使用地ノ混
雜錯綜セル關係ニ想ヒ及ビマスレバ、恐ラクハ
苦情百出、情實纏綿、是ガ爲ニ時日ヲ遷延シ、復
興事業ノ進歩ヲ阻碍スルニ至ルコトハ、蓋シ必然
テアルマイカト存ジマスル、其結果市及國ノ受ク
ル所ノ損失ハ、諸君ガ之ニ依ツテ得ントスル節約
金額以上ニモ上ルコトデアリマセウ、是レ本員ハ
空想バカリデアリマセヌ、大災以來此社會ノ紛
爭ガ、既ニ今日ニ於テ日々數百件ヲ算シテ、各所
出張ノ借地借家調停機關ヲ煩ハシテ、或ハ從來ニ
於キマシテモ、僅ニ一尺二尺ノ境地ヲ數千金ノ訴
訟費用ヲ出シテ、最後ノ手續ニ訴ヘル者ガ可ナリ
多カツタト云フヤウナ事實ヲ知ラレマシタナラ
バ、蓋シ想半バニ過ギラル、デアラウト存ジマ

スレ、更ニ土地ノ實際ノ狀況ニ照シテ見マシテモ、東京ノ宅地ハ、其中ニ大小幾多ノ道路街路ガ縱横ニ相交錯シテ居ルノデアリマス、單ニ口デ言ヘバ十二間以上ノ道路ニ關スル土地、又ハ十二間以下ノ道路ニ關スル土地ト、諸君ハ斯様ニ手輕ニ區別サレテ申サレマスルケレドモ、東京ノ町ニ入ッテ見マスルト云フト、片一方ハ十二間以上ノ道路ニ面シ、又他ノ一面ニ於テハ十二間以下ノ道路ニ面シ、又他ノ一面ニ於テハ更ニ二十間以下ノ道路ニ面シ、又他ノ一面ニ於テハ二十間以上ノ道路ニ面シテ居ル、斯様ナ部分モ中ニ少クハナイノデアリマス、此場合ニ諸君ハドウ云フヤウナル按排ヲ以テ、此土地ノ區劃ノ此部分マデハ十二間以上ノ街路ニ係ハル部分デアル、此部分カラ先ハ十二間以下ノ街路ニ係ハル部分デアルト云フヤウナコトヲ實際ニ於テ區別セラレテ、其國家ノ負擔ト市公共團體若クハ地主借地人ノ整理組合トノ負擔トノ按排ヲ決メラレヤウト致シマスルガ、是等ノ問題ハ實際ニ於テ定ニ言ヒ易ク行ヒ難キコトデアリマシテ、机上ノ空論ハ實地ニ臨ンデ役ニ立タナイコト夥シキモノガアルト云フコトヲ豫メ御承知置キアラネバナラヌト考ヘマス、而シテ最早ヤ震災後約四箇月ヲ經過致シテ居リマス、折角復興院當局ガ、日夜不眠不休デ全力ヲ舉ゲテ此計畫ヲシテ參リマシタモノヲ、又諸君ガタツタ二三日ノ審議ニ依ツテ、斯様ナ設計ヲ根本カラ變改セラレマスルコトハ、恐ラク此大切ナ四箇月ノ間ヲ無益ニ經過セシメラレテ、市民ハ更ニ諸君ノ机上ノ空論ヲ實地ニ常嵌メマスルガ爲ニハ、幾箇月カノ無用ナル日子ヲ重ネテ費サナケレバナラヌ、此間ノ損害ト苦痛ト云フモノハ、具ニ御同情ニ訴ヘテ置キタイト思フノデアリマス(拍手)是等ノ事情ハ姑ク措クト致シマシテモ、茲ニ最モ憂慮シナケレバナラヌ點ハ、國

防ノ關係デアリマス、殊ニ豫期シナケレバナラヌ所ノ將來ノ空中戰、又將來ノ大火災延燒ノ場合ノ防止ノ方法、防止ノ設備、而シテ又今後ノ震災、非常時ノ避難策等ハ勿論、平生都市ノ膨脹發展率ノ上ヨリモ考ヘマシテ、此際徹底的ニ國家ノ強力ヲ以テ、百年ノ大計ヲ樹テ、之ヲ行フニアラザレバ、恐ラクハ帝國ノ前途ニ微シ、悔ヲ千歳ニ貽スノ憾アリト云フコトヲ恐レル者デアリマス、多數諸君ノ態度ハ、私共ノ目カラ見マスレバ、俗ニ云フ一文惜ミノ百知ラズデハナイカト思フノデアリマス、此吾々ノ理解スベカラザル政策ニ依ツテ、大東京建設ノ爲メ絶好ノ機會ヲ逸シ去ラント致シマスコトハ、返ス／＼モ遺憾ノ次第デアリマテ、諸君ハ昨日東京市民ノ負擔力ヲ杞憂セラレテ、サウシテ吉植君デアリマシタカ——三土君デアリマシタ、三土君ハ其負擔力ノ輕減ノ意味ニ於テモ、豫算削減ノ必要ヲ説明サレタノデアリマス、私共東京市民ノ立場カラ見マスレバ、是ゾ洵ニ餘計ナオセツカイデハアルマイカト考ヘルノデアリマス、成程表面ノ市ノ負擔ハ二億八千萬圓、全經費ノ四割五分デアリマスケレドモ、田川君モ昨日説明致サレマシタ通り、有利ノ公債ヲ以テシマスルナラバ、償還年額ハ五百萬圓、別ニ政府ニ對シテ四百萬圓、合計正味ノ所九百萬圓デアルト云フコトハ、吾々ノ計算モ亦同様に相成ルノデアリマス、加之多少古イ豫算デアリマスガ、今手許ニアリマス所ノ大正十年度ノ豫算ヲ見マスルテ、東京ノ市民ノ負擔ヲ大阪ノ市民ノ負擔ニ比ベテ見マスルト、一世帯平均ガ東京ノ方ハ百二十五圓デアリマシテ、大阪ノ方ハ百四十圓餘リニ相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ此一世帯ノ負擔ノ差ガ十五圓平均ニ相成リマスカラ、之ヲ東京市ノ全世帯ニ乗ジマスと、六百八十五萬二千餘圓ト云フモノハ、尙ホ大震災前ニ於ケマシテハ大阪同様に

ノ心持ヲ以テ致シマスレバ、負擔ノ餘力ハ現ニ存シテ居ツタモノデアリマスガ、成程大震災災ニ因リ、斯様ナ情ケ無イ有様ニ陥リマシタ以上、令俄カニ此負擔力ヲ恢復スルコトハ、固ヨリ困難デアリマスケレドモ、少シク假スニ時日ヲ以テ致シマスレバ、東京市ノ負擔ノ前途ト云フモノハ、必ズシモ三土君ノ御心配遊バサレルガ如キコトデハナカラウト思ヒマスシ、又今回ノ大事變ニ處スル所ノ東京市民ノ大決心ト云フモノハ、蓋シ諸君ノ想像以上デアリマス、洵ニ東京市民ノ不撓不屈ノ精神ヲ理解遊バサレルガ地方多數ノ諸君ニ取リマシテハ、私共ハ市民ノ大決心ヲ語ツテモ、御納得ニナルマイト云フコトヲ考ヘマシテ、モ憐レ情ケナイ心地カ致スノデアリマス、固ヨリ本件モ(昨日濟ンデ居ル)ト呼フ者アリ)左様、昨日片付キマシタ、今日カラ申セバ愚知ノヤウニ聞エマセウト云フコトハ申上ゲマシタガ、此場合假令愚痴デモ繰返シ／＼、諸君ノ衷情ニ御訴ヘシナケレバナラスノデアリマス、而シテ本案モ固リ完璧トハ申シニクイノデアリマス、元來眞ノ復興ト云フコトハ、地理的ノ復興バカリデハアリマセヌ、經濟的復興ハ勿論、精神的復興ノ各方面カラ、一切ノ計畫施設ヲ網羅シテ、其大本ヲ定メテコソ、初メテ理想ニ近イモノデアリマスシ、又豫算ノ申ニハ、其事業施設ノ上ニ於テ、法律事項ニシナケレバナラヌ事柄モ少クハナカラウト心得テ居リマスルノニ本案ハ確ニ其中ノ一部タル地理上ノ復興ニ止ツテ居リマスルコトハ、矢張一ツノ缺點デアルト申サナケレバナリマセヌ、又案自體ニ於ケマシテモ、施行區域、殊ニ大東京都市計畫トノ關係、又都市計畫法、殊ニ中央地方委員會トノ關係又國債償還ノ財源ハ豫算ノ場合ニ大ニ論議サレマシタガ、國債償還ノ財源等ノ何レモ明確ヲ缺イテ居ルガ如キソレハ不安ハナイデモアリマセヌ、又案ノ條項ニ

立至リマスレバ、土地區劃整理委員會ノ組織ノ權限ノ、或ハ偏頗ニ流レザルヤト云フ虞モアリマスルコト、又工作物ノ種類ニ依リマシテハ、移轉ノ豫告期間ノ稍、短イ事、無償提出スベキ地坪ノ割合ノ稍、少イ事、移轉ニ依ル損害ノ限度ノ狹イ事、利害關係人ニ支拂フベキ國債證券ト現金ト割合ノ不明確ナリト不案モナキニシモアラズデアリマスガ、是等ハ暫ク之ヲ前記ノ實績ニ徴シマシテ、茲ニハ唯、夫レ誠意帝都復興ノ大事業ヲ協賛促進スル目的ヲ以テ、本案通過後、且施行上ノ監視監督ヲ嚴ニシテ、サウシテ他日更ニ考慮ヲ重ネル事アルカモ知レスト云フコトダケヲ申上ゲルニ止メデ置イテ、サウシテ此原案ノ復活ヲ切ニ希望致シマスカラ、隨テ委員長ノ修正ノ御報告ニハ反對ヲ表明スル次第デアリマス(拍手)

〔添田敬一郎君登壇〕

○添田敬一郎君 我先刻委員長ノ御報告ニナリマシタル修正案ニ賛成スル者デアリマス、只今作間君ノ此修正案ニ對シテ種々反對理由ヲ御述べニナリマシタ、之ヲ拜聴致シマスルノニ、第一ノ御論旨ハ、如何ニモ今回ノ東京横濱ノ震災災ガ激甚デアツテ、此罹災者ニ對シテ十分ノ同情ヲ表セナケレバナラス、然ルニ政友會ノ提案シマシタル修正案ハ、此同情ノ薄イモノデアルカノ如ク御論及ニナツタノデアリマス、私モ此震災ニ付テ罹災者ニ同情ヲ表スルコトハ、敢テ人後ニ落チル者デアリマセヌ、併ナガラ此同情ヲ如何ナル方法ニ依ツテ之ヲ表スルカト云フ所ノ問題ニ付キマシテハ、聊カ作間君トハ所見ヲ異ニシ居ル者デアリマス、政府ノ提案ヲサレマシタル都市計畫ノ案、其案ニ依リマス云フト、將來ノ東京市及横濱市ニ要スル都市計畫ノ事業ノ殆ト總テテ、政府ニ於テ之ヲ執行シャウト云フ案デアリマシタ、併ナガラ吾々ハ或ル程度ノモノハ之ヲ政府ニ於テ

爲サシメ、或ハ公共團體ノ力ニ於テ之ヲ爲サシメ、併ナガラ罹災者自ラガ爲シ得ル程度ニ於テハ、罹災者自ラノ執行ニ委シタガ宜シイ、面シテ其執行ニ任セルコトハ、眞ニ彼等ヲシテ自覺セシメ、彼等ヲシテ復興セシメル所以デアルト私ハ信ズルノデアリマス、兎角大災害ノ起リマシタ時分ニ於テハ、世間ガ是等ノ罹災者ニ對シテ飽同情ヲ表スルノハ人情ノ美デアリマス、併ナガラ多クノ場合ニ於テ、其同情ヲ表スルノ餘リ、彼等自身ヲシテ行ハシムベキ事迄モ、悉ク他人ノ手ニ依リ、或ハ國ノ力ニ依ツテ之ヲ爲サシメントスル傾向ノアルコトハ、私共ハ寧ロ此復興ニ對シテ甚ダ得策デナイト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス(拍手) 〇添田敬一郎君 此震災ニ對シテハ非常ニ同情ヲ表スルノコトアルケレドモ、併ナガラ其復興復活ト云フコトニ付テハ、無論政府ノ爲スベキモノハ之ヲ政府ニ於テ爲サシメ、公共團體ニ於テ爲スベキモノハ、之ヲ公共團體ニ於テ爲スガ當然デアルケレドモ、亦自ラガ此震災災ガ復興ヲ恢復セナケレバナラスト云フ所ノ自信ヲ持タナケレバナラス、又自覺ヲシナケレバナラスト云フコトヲ、常ニ私ハ極論ヲシテ居ル者デアリマス、區劃整理組合ニ於テ事業ヲ執行スルト云フコトニ付キマシテハ……

〔山形縣會トハ違フゾト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 中野君靜ニ
〇添田敬一郎君(續) 只今非常ニ是ガ困難デアル、地上權ノ關係モアリ、借地借家ノ關係モアリ、非常ニ複雑シテ居ルガ故ニ、其執行ガ頗ル困難デアルト云フコトノ御話ガアリマシタ、私モ從來東京市ニ於テ、斯ノ如キ自治的ノ土地整理組合ノヤウナモノガ出來ナカツタト云フ此經驗カラ見マスナラバ或ハ困難デアラウト思ヒマス、決シテ樂々

ト出來ルモノデハナカラウト思ヒマス、併ナガラ先程モ申述べルガ如ク、此震災災ニ就テ東京市民ガ十分ニ自覺ノ上ニモ尙ホ自覺ヲシテ、奮起ノ上ニモ奮起ヲシテ、是等ノ計畫ヲ實行スルト云フコトノ決心ヲ爲スト云フコトノ自覺ガ、帝都ノ復興ニ私ハ大影響ノアルモノダト思フノデアリマス、徒ニ政府ニ、或ハ公共團體ノミニ總ツテ、金ヲモ貰ヒ、仕事ヲシテ貰フゾ、ソレダケ復興ガ出來ルト云フ譯ノモノデハナカラウト思フ、先達諸君モ御承知ノ如ク、此震災災ノ後ニ於テ、畏クモ我が 皇上陛下ハ精神作興ニ關スル所ノ詔勅ヲ御發布ニナリマシタ、吾々臣民ハ洵ニ畏ク存ジテ居ルノデアリマス、而シテ此精神ヲ作興ト云フコトニ付キマシテハ、政府ハ其實行方法、其御詔書ノ徹底方法ニ付テ、十分ニ盡力ヲスベキ義務ガアルノデアリマス、今度ノ此土地整理組合ノ如キモノガ、困難ハ困難デアリマセウケレドモ、東京市民及横濱市民ノ熱心ニ依リ、又政府並ニ地方廳ノ非常ナル努力ニ依ツテ、完全ニ出來上ツテ、此組合ノ力デ區劃整理ガ若シ出來得ルナラバ、私ハ是ハ唯、此東京ノ都市ノ形式上ノ區劃整理ガ旨ク完成スルノミナラズ、市民ノ精神作興ノ上ニ於テ、自治ノ觀念ノ發達ノ上ニ於テ、如何許リ效果ガ多イヤト云フコトヲ考ヘルノデアリマス(拍手) 其聲デハ精神作興ヲ言フ資格ハナイ馬鹿野郎、何ガ馬鹿野郎ダ、又ハ懲罰々々ト呼フ者アリ

〇議長(粕谷義三君) 注意致シマス

〇添田敬一郎君(續) 第二ニ作間君ハ此復興計畫ニ對スル吾々ノ査定ハ、國防ノ上ニ非常ナル打擊ヲ與ヘルモノデアル、國防ノ上ニ於テ非常ナル計畫ヲ爲サナケレバナラスノニ、斯ノ如ク金ヲ減スナラバ、是等ノ事ヲ行フコトガ出來ヌト云フヤウニ御述べニナツタノデアリマスケレドモ、今回政府ノ提案セラレタル政府案ソレ自身ニ、何處ニ國

防ニ關スル所ノ計畫ガアツタノデアリマス、國防ニ關スル問題ハ或ハ豫算委員其他ノ委員會ニ於テ、幾多ノ質問ガ交換セラレマシタガ、併ナガラ此計畫ノ上ニ、或ハ法文ノ上ニ、明ニ國防ニ關スル問題ハ出テ居ラナイノデアリマス、隨テ此問題ニ付テノ御論及ハ、甚ダ當ラ得ナイモノデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ第三ニ今回ノ修正ガ復興院ノ廢止ト共ニ、從來復興院ニ職ヲ執ツテ居ル所ノ職員ガ、不眠不休ニ依ツテ出來上ツタ所ノ案ヲ改造シナケレバナラヌ、ソレガ爲ニ又時日ヲ要スト云フヤウナル御話ガアリマシタガ、成程私ハ復興院ニ屬スル所ノ職員諸君ハ、非常ニ勉強サレタと思ツテ居リマス、併ナガラ此計畫ソレ自身ハ、大體ニ於テ先年都市計畫ヲ決定シタル所ノ案ヲ擴張シタルモノデアリマス、殊ニ震災以來三箇月、四箇月ニ至ル其間ハ、或ハ參與會ニ提出シ、或ハ審議會ニ提出シ、或ハ評議會ニ提出シテ、常ニ變更ニ變更ヲ重ネテ、今日迄經過ラシテ居ルノデアリマス、殊ニ又此土地區劃整理ニ關スル所ノ實際ノ設計ト云フモノハ、御承知ノ通り出來テ居ラナイノデアリマス、是カラヤラウト云フ問題デアルノデアリマス、是等ノ豫算ノ修正ガ、何等政府ノ今日迄ノ計畫ニ阻格ヲ與ヘルコトハナイノデアリマス、此豫算ガ全部原案ノ通りニナツタニシタ所デ、矢張政府ハ之ニ對シテ相當ノ計畫ヲ立テ行カケレバナラヌノデアリマス、何モ御心配ナ事ハ無イト思フノデアリマス、殊ニ今回ノ此計畫案ノ修正案ハ、唯、地主組合ソレ自身ニノミ之ヲヤラシメテ、他ニ途ガ無イノデハナイノデアリマス、公共團體ガ之ヲ爲サントスル場合ニ於テ、爲シ得ルノ途ヲ開イテアルノデアリマシテ、土地區劃整理委員會ナルモノガ、若シドウシテモ不可能ノ場合ニ於テハ、公共團體ガ之ヲ爲シテ些ツトモ差支ナイノデアリマス、是ハ從來ノ

都市計畫ノ決定ヲシテ、ソレヲ公共團體ガ執行スルノト何等ノ違ハナイノデアリマス、万已ムテ得ザル場合ニ於テハ、斯ノ如キ方法ガアルノデアリマス、〔平時トハ違フ〕ト呼フ者アリ、平時ト違フガ故ニ、私ハ一層ノ努力ヲ東京市民ニ希望スルノデアリマス

〔高見之通君登壇〕

○高見之通君 本員ハ遺憾ナガラ議員岡本幹輔君ヲ懲罰委員ニ對スルノ動議ヲ提出致シマス、議員岡本幹輔君ハ議員添田敬一郎君ノ演說中、同君ノ名譽ヲ毀損スルノ言辭ヲ發シ、甚シク議院ノ體面ヲ汚サレタルヲ以テ、茲ニ同君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ提出致シマス、其證據ハ歷々トシテ居リマス、茲ニ此動議ヲ提出スルノデアリマス

〔贊成〕〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長〔柏谷義三君〕 只今ノ高見君ノ動議ニハ成規ノ贊成ガアルト認メマス、岡本君辯明ガアルナラバ許シマス

○岡本幹輔君 私ハ發言ノ通告ヲシテ居リマセヌカラ、發言ヲ致シタノデハゴザイマセヌガ、若モ私ノ只今ノ演說者ノ言ニ對シテ、贊否ノ表示ノ仕方ガ議院ノ神聖ヲ汚シタモノガゴザイマシタナラバ、茲ニ謹ンデ私ノ先ノ言辭ヲ取消ヲ致シマス

○岩崎勳君 私ハ只今ノ高見君ノ動議ノ提案ノ贊成者デアリマスガ、只今岡本君ハ謝罪ノ意味ニ於テ其發言ヲ取消シタヤウデアリマス、ソレ故ニ之ヲ撤回致シマス

○議長〔柏谷義三君〕 尙ホ議長ヨリモ岡本君ニ向ツテ希望致シテ置キマス、將來十分ニ御注意アラント希望致シマス—— 湯淺凡平君

〔湯淺凡平君登壇〕

○湯淺凡平君 私ハ委員長ノ報告ニ對シテ其修正ノ意見ニ反對スル者デアリマス、昨日ノ豫算ノ問題ニ對シマシテハ、多額ナル原案ニ對スル削減、

此削減ニ依テ帝都復興ノ計畫ハ著シク阻礙サレタルコトハ事實デアリマス、サリナガラ是モ亦一面カラ考ヘマス、一方ニ於テ削減シタリト雖モ、尙ホ他方ニ於テ之ニ與フルノ餘地ヲ存シテ居ルノデアリマスガ故ニ或ハ之ヲ程度ノ問題ト見ルコトモ出來ルデアリマセウ、但シ是ガ爲ニ政府ノ威信面目ヲ失墜致シタルコトハ爭フノ餘地、ナイノデアリマス、然ルニ此修正案ニ至リマシテハ、程度ノ問題ニアラスシテ、實ニ主義ノ問題デアルノデアリマス、帝都復興ノ計畫ハ、唯、徒ラニ文化經濟及政治ノ復興ヲ遂行ヲ致シテ居ルモノデアナイノデアリマス、帝都ノ復興ハ實ニ人道ノ問題デアルノデアリマス、吾々ハ此度ノ震災ニ依リマシテ、體驗ヲ致シタル所ノ慘害及大悲惨事ハ、此慘害ト悲惨事ヲシテ再ビ斯ノ如キ災害ヲ繰返スコトナク、人道ノ見地ヨリ此災害悲惨事ヲ救ハナケレバナラヌト云フノガ、此帝都復興ノ大使命デアルト謂ハナケレバナリマセヌ、而モ此度ノ災害ノ因テ起リタル所ノモノハ、地震ノ害ニ因ルモノモ大ナルモノガアリマスガ、更ニヨリ以上大ナルモノハ火災デアリマス、而シテ只今問題トナツテ居ル所ノ復興計畫ハ、其極ク縮メテ大綱ヲ申シマスナラバ、此慘害ノ因テ起レル大原因ノ火災ヲ防止スルニアルノデアリマス、而モ其火災ヲ最モ迅速ニ最モ適切ニ防止スルト云フノガ此法案ノ眼目デアル所ノ土地區劃整理ノ方法ニアルノデアリマス、區劃整理ノ方法ノ目的ハ、色々アルノデアリマセウガ、主タル所ノ目的ハ、何レノ道路何レノ住宅ノ附近ニ於テモ、消防機關ノ活動ヲ自由ナラシムルト云フノガ大ナル目的デアルノデアリマス、此目的ハ最モ速ニ遂行シタケレバナラヌ、然ルニ此目的ヨリシテ計畫サレタル此提案、之ヲ國家ノ力ニ依テ強制セシテ、地方ノ地主組合ニ任セ、或ハ借地人組合ニ任セ、斯ノ

本案ノ委員長ノ修正ニハ反對ヲ致シマス
○議長(粕谷義三君) 本議ノ第二議會ニ於テ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告即チ修正ニ對シテ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(粕谷義三君) 起立多數、即チ修正案ハ可決サレマシタ、直ニ第三議會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 直ニ第三議會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

震災善後公債法案 第三議會

○高見之通君 本案ハ委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍チ動議ノ如ク決シマシタ、即チ本案ハ委員長報告ノ通り可決確定セラレマシタ

○岩崎勳君 此際質問ニ對スル政府ノ答辯ニ關シテ各質問者ヨリ意見ノ陳述ヲ求メラレテアルヤウデアリマスカラ、其意見ノ陳述ヲ御許ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍チ動議ノ如ク決シマス、質問ノ答辯ニ對スル意見ノ陳述、先ヅ伊坂秀五郎君ニ許シマス、

質問ノ答辯ニ對スル意見陳述

(伊坂秀五郎君登壇)

○伊坂秀五郎君 本員ハ先日大正四年乃至大正九年ノ戰役ニ依ル町村長ニ對スル論功行賞ニ付キマシテ、質問主意書ヲ提出致シテ置イタノデアリマス、而シテ最近ニ總理大臣ヨリ是ガ答辯ガアリマ

シタガ、尙ホ聊カ了得シ得ザル點ガアリマスカラ、更ニ愚見ヲ陳述致シタイト存ジマス、大正四年乃至九年ノ戰役ニ關シテハ、文武官或ハ榮位榮職ニ在ラレタ所ノ方ニハ、既ニソレノ論功行賞ノ公報ガアリマシテ、各、其恩遇ニ接セラレタニモ拘ラズ、戰役ニ付キマシテハ直接ニ深キ關係ヲ有セシ町村長諸氏ニ對シ、此程漸ク賞勳局ヨリ行賞ノ發表ノアリマシタル事柄ハ、山本首相ノ御答辯ニ依ツテ承テ仕リマシテ、稍々安心ヲ致シタノデアリマス、併ナガラハ未ダ公表セラレテ居ナイト云フコトニ在リマシテハ、本員頗ル遺憾ニ存スル者デアリマス、彼等町村長ガ彼ノ戰役ニ付キマシテハ御承知ノ如ク或ハ兵員ノ動員デアアル、或ハ馬匹ノ徵發ノ如キ、糧秣ノ調達ノ如キ、多大ナル苦心ヲ以テ之ニ努力致シタ者デアリマス、若去レ地方民人ノ士氣振興ノ如キ、其他兵事ニ屬スル切實ナル事柄ニ付キマシテハ、殆ド晝夜兼行以テ事ニ當リタルハ、敢テ本員ノ詳述ヲスル迄モナク、政府ニ於ケレモ固ヨリ御承知ノ次第ト存ズルノデアリマス、今ヤ戰雲全ク收マツテ以來、既ニ千數百日ヲ經過シテ居ルノデアリマ

スルケレドモ、彼等町村長ニ對スル何等行賞ノ公報ナク、荏苒尙ホ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、思フニ町村長ノ如キハ、平素ヨリ常ニ煩雜ナル職務ニ従事スルノ身ヲ以テ、尙且ツ戰役ノ非常ナル事變ニ際シテ不眠不休ノ狀態ヲ以テ大義奉公ノ誠ヲ盡シ、加之彼等ハ繁劇ナル職務ニ従事スルモ、猶之ニ酬ヒタルコトノ甚ダ薄キハ、固ヨリ名譽職員トハ申シナガラ、洵ニ同情ノ念禁ズル能ハザルモノガアリマス、爾ニ思フニ斯様ナル人ニコソ、先ヅ論功行賞ニ際シマシテハ、第一著ニ其恩遇ニ浴セシメテ、以テ忠良ナル臣民ヲ獎勵セラル、コトハ、吾々ハ切實ナル事柄デハナイカト存ズルノデアリマス(ヒヤ)大官顯職ニ在ル人ニハ、斯カル場合ハ、寧ロ天下ノ愛ニ先ツテ發ヘ、天下ノ樂ニ後レテ樂ム、所謂先憂後樂ノ實踐躬行ヲセラル、コトガ、却テ是ガ天下ヲ指導シ民

心ヲ慰撫スルノニハ、最モ穩當ナル處置デハアルマイカト存ズルノデアリマス、殊ニ町村長ハ我國政治ノ體系ノ上ヨリ致シマシテモ、最小行政首腦者デアリマス、即チ國家統治機關ノ組織ノ上ニ於テハ、有力ナル根柢デアアルノデアリマス、是等ニ對シマシテハ、我國行政ノ局ニ當ル者ハ

〔粕谷議長退席松田副議長著席〕

十分ノ理解ト深キ同情ヲ以テ取扱フコトハ、民心統治ノ上ニ於テ、大ナル喫緊要事デナイカト、吾々ハ考察ヲ致ス者デアリマス、戰役ノ終局以來彼等ニ對スル行賞ガ、今尙ホ公表ヲ見ルコトガ出來ズシテ、爲ニ悲ムベキ事ハ中ニハ熾烈ナル義勇奉公ノ精神ヲ懷イテ遂ニ恩遇ニ浴スルコト能ハズ、空シク幽冥境ヲ異ニシタル者サヘ中ニハ數多クアルノゴザイマス、吾々ハ洵ニ返ス返スモ残念ノ極ミニ存ズルノデアリマス、斯様ナル次第ヨリ致シマシテ、私ハ一日モ速ニ彼等ニ對スル行賞ノ公表セララル、コトヲ衷心ヨリ切望シテ已マザル者デアリマス、此震災後ニ於ケマシテ、或ハ印刷局アタリノ此能力ガ非常ニ減殺ヲ致シテ居ルト云フ事柄ガ、隨ツテ此遷延今ニ及ンデ居ルコトカモ存ジマセヌ、併ナガラ斯様ナ事柄ハ、萬障ヲ排シテ一日モ速ニ公表セララル、コトヲ切望スル者デアリマス、政府ハ此事ヲ如何ニ御心配ニサツテ居リマスコト、信ジマスルガ、更ニ私ハ重ねテ此御意見ヲ陳述致シマシテ、政府ノ御考慮ヲ煩シタイト存ズルノデアリマス、臨時議會ノ而モ曠古無前ノ一大震災ニ關スル此議會ニ於テ、本員ガ更ニ此事ヲ申上ゲマスル所以ノモノハ、忠良ナル我が國民ノ心情ニ鑑ミ、急且ツ大ナルモノアルヲ懸念シテ、敢テ此意見ヲ陳述致シタモノデアリマス、政府ニ於テハ願クハ相當ノ御考慮アラシコトヲ切望致シマス(拍手)

○副議長(松田源治君) 田中武雄君

(田中武雄君登壇)

○田中武雄君 諸君、私ハ對米外交ニ關シマシテ、質問致シマシタ所ガ、本日答辯ヲ頂戴致シマシタ、

右ニ對シテ意見ヲ陳述致シタイト考ヘマス是ハ在米ノ我ガ同胞ガ所有シテ居リマス土地、即チ土地所有權其他ニ關シマシテ、去ル十一月十三日及十九日ノ二回ニ分タレマシテ、米國大審院ノ判決ガ下サレタノデアリマスルガ之ニ依リマシテ我ガ同胞ノ亞米利加ニ於キマスル所ノ運命ト云フモノハ、誠ニ危イコトナリマシテ、土地所有權ノシマスルコトモ、或ハ土地會社ノ株式ヲ所有スルト云フ形式ニ依ツテ、繋ギテ付ケテ居リマシタコトモ、又ハ收穫ノ契約ノ歩合——收穫歩合ノ契約ニ依ツテ活路ヲ求メテ居ツタト云フコトモ、全部モウ駄目ト云フコトニナツテシマフヤウナ運命ニ逢著ヲ致シタノデアリマスルガ、加州及華盛頓州等、同ジ排日法ヲ持ツテ居リマスル諸州モ、何レ此法ニ從ヒマシテ、同地ニ於キマスル我ガ同胞ノ運命モ非常ニ危イ事ニナル次第ナノデアリマス、御存知ノ如ク彼方ニ居リマスル大部分ノ者ハ、農業ヲ營ンデ居ル者デアリマシテ、其耕作面積ハ四十六万町歩ニ及ンデ居リマスガ、排外土地實施以前ニ持ツテ居リマシタ所ノ登録ヲ致シテ居リマシタ分ガ二万七千町歩デ、其他ハ色々ナ方法ニ依ツテ繋ギテ付ケテ居ツタノデアリマスルガ、其判決文ヲ見マスルト、十三日ニハ華盛頓州ノ土地法ニ關スル判決、十九日ニハ土地會社ノ株式所有ニ關スル判決、同ク加州法借地權ニ關スル判決、收穫契約ニ關スル判決ト云フモノニ分レテ居ルノデゴザイマスガ、此大體ヲ通視致シマシテハ、先ヅ加州法ノ借地權ニ關スル判決ニ於キマシテハ、日米通商條約ハ日本臣民ニ對シマシテ農業地所有、若クハ賃借權ヲ附與シテ居ナイト云フコトヲ記シテ居ツテ一切ノ事ハ州ニ於テヤツテモ宜シイト云フコトヲ記シテ居ルノガ其大體デアル、ソレカラ土地會社ノ株式所有ニ關スルモノハ其中ニ商業ヲ營ムト云フコトハ條約ノ中ニハ別ニ含ンデアルモノデモナク、之ヲ認メルト云フコトハ締約國ノ意思及目的ニ反スルモノデアルト云フヤウナコトヲ記シテ居ル、又收穫ノ歩合ノ契約ニ關スル判決ニ於キマシテハ同様ノ事ヲ記シテ居ルノデゴザイマシテ、三

ツトモ是ハ何處ニ根據ヲ置イテ居ルカト申シマスルト、週ツテ十三日ニ判決ヲ下サレマシタル華盛頓州ノ判決ヲ根柢トシテヤツタモノデアルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、然ラバ其華盛頓州ニ於キマシテ借地法ニ——華盛頓州土地法ニ關スル判決ト云フモノ、大體ハ、頭カラ土地法ニ關スル第十四條ノ本條補則ニ抵觸セズト云フコトヲ言ツテ、サウシテ其内容ヲ讀ムト讀ンデ居リマスルト、日米通商條約ト云フモノニ絶對ニ觸レナイト云フコトノ事情ヲ記シタ中ニ——事情ヲ記シマシタ中ニドウ云フ事ガアルカト申シマスルト、其條約締結ノ事情ト云フモノヲ說明致シマシテ、此條約ノ事情ヲ說明シタ中ニ千九百十三年七月十六日「ブライアン」氏ト珍田伯トノ間ニ交換セラレマシタル所ノ書面ニハ、土地所有權ハ日本ノ希望ニ依ツテ與ヘナカツタト云フヤウナ意味ノ事ヲ記シテ居ルノデゴザイマス、サウシテ條約ノ草案ニ住居、商業、工業、其他適法ナル目的ノ爲ト規定致シマシタルノヲ、住居、商業ト云フコトダケニ致シマシタノダカラ、特定ノ目的ト云フコトヲ省イタ以上ハ、農業ノ土地所有ト云フコトハ、日本ノ希望ニ依ツテ之ヲ省イタンデアルト云フ意味ノコトヲ記シテ居ルノガ、私ノ手許ニ參ツテ居ル書類ニハ書イテアルノデアリマス、政府ニ於キマシテモ、之ニ關スル一切ノ書類ヲ御持ダラウト思ヒマスルガ、是ハ洵ニ重大ナル——小サイヤウナ事件デアツテ、日本ノ希望ニ依ツテ之ヲ削ツタト云フガ如キコトハ、私ノ知ツテ居ル範圍ニ於テ「ブライアン」氏及珍田伯ノ間ニ交換セラレタル手紙ニハナイト思フノデアリマスルガ、此内容果シテ如何、御差支ナクバ之ヲ公表セラル、コトガ、此事件ガ洵ニ重大デゴザイマスルカラシテ、小サイヤウノヤウデモ外交政策ノ中ノ最モ重大ナル一點ト信ジマスルカラ、此一點ヲ御説明ヲ願ヒタイノ手、第一ハ政府ノ所ノ要求デアリマス（拍手）第二ハ此實際問題ヲ解決致シマスルノニハ、二重國籍ト云フ所ノ問題ガ横ツテ居ルノデアリマス、是ハ前ノ議會ニ於テ、革新俱樂部ノ植原悦二郎

君ガ非常ニ御辯ジナリマシタガ、大體當局ノ意見ト云フノハ分ツテ居ルノデゴザイマスガ、唯、陸軍ニ於テ如何ニ之ヲ考慮スルカ、十七歲以上ノ青年ヲ——亞米利加ニ居リマス青年ヲ徵集シテ、サウシテ日本ノ軍隊デ幾許ノ效果ガ收メ得ベキヤト云フコトハ、既ニ定論ガアルノデゴザイマシテ陸軍ニ於テモ、之ニ就テハ既ニ之ニ執着ヲ致シマシテ何處迄モ古イ頭デ之ヲ御解決ニナルト私ハ信ジテ居リマセマスガ、如何ニ陸軍ノ當局ハ之ニ對スル御意見ヲ持ツテ居ラル、カ、即チ第一ハ外交ノ高等政策ニ關スル一部ノ實際問題、第二ハ日本人ノ亞米利加ニ於キマスル生活ヲ根柢トセル實際問題、此二點ニ對シマシテ第一ノ點ハ外務當局ヨリ、第二ノ點ハ陸軍當局ヨリ明快ナル所ノ御答辯ヲ頂戴シ、之ヲ國民ノ前ニ明カニセラル、コトヲ在米同胞ノ爲ニ望ンデ降壇スル次第デアリマス、（拍手）

（國務大臣男爵伊集院彦吉君登壇）

○國務大臣（男爵伊集院彦吉君） 只今ノ田中君ノ御質問ニ答辯致シマス「ブライアン」氏ト珍田大使トノ事ニ關シマシテハ、裁判所ノ報告ガ間違ツテ居リマス、斯様ナ事實ハ全クゴザイマセヌ、御安心ヲ願ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス、

（政府委員宇垣一成君登壇）

○政府委員（宇垣一成君） 只今田中君カラ二重國籍ノ改正ニ關スル陸軍ノ意嚮ヲ御質問ニナリマシタガ、陸軍ニ於キマシテモ改正ノ必要ヲ認メマシテ、目下其調査ヲ進メテ居ル所デゴザイマス

○高見之通君 殘餘ノ意見ノ陳述及日程ニ對シテ、延期ノ動議ヲ提出致シマス

（贊成「贊成」ト呼フ者アリ）

○副議長（松田源治君） 高見君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

（異議ナシ「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（松田源治君） 異議ナシト認メマス、仍テ延會致シマシタ、次ノ日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後四時二十七分散會